令和5年度

津和野庁舎 耐震補強·改修工事 設計図 (実施設計図)

図面リスト

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称		縮尺	番号	図面名	· 称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
	建 築 図		A - 3 9	展開図-5 【改作	修後】	1/100	S – 1 1	荒壁パネル仕様書	【改修後】	_	E-24	既設幹線動力設備配線図	1/100
A-00	図面リスト		A - 4 0	展開図-6 【改作	修後】	1/100	S – 1 2	軸組図一1	【改修前】	1/100	E-25	既 設 電 灯 設 備 配 線 図	1/100
A - 0 1	特記仕様書-1	_	A – 4 1	天井伏図 【改作	修前】	1/100	S – 1 3	軸組図-2	【改修前】	1/100	E-26	既設コンセント設備配線図	1/100
A - 0 2	特記仕様書-2	_	A-42	天井伏図 【改作	修後】	1/100	S – 1 4	軸組図-3	【改修前】	1/100	E-27	既 設 弱 電 設 備 配 線 図	1/100
A - 0 3	特記仕様書-3	_	A-43	建具キープラン 【改	修前】	1/100	S – 1 5	軸組図-4	【改修前】	1/100			
A - 0 4	特記仕様書-4	_	A – 4 4	建具キープラン 【改	修後】	1/100	S-16	軸組図-5	【改修前】	1/100			
A - 0 5	特記仕様書-5	_	A – 4 5	建具表一1 【改作	修前】	1/100	S-17	軸組図-6	【改修前】	1/100			
A - 0 6	特記仕様書-6	_	A-46	建具表-2 【改作	修前】	1/100	S-18	軸組図-7	【改修前】	1/100			
A - 0 7	特記仕様書-7	_	A – 4 7	建具表一3 【改作	修前】	1/100	S-19	軸組図-8	【改修前】	1/100			
A - 0 8	特記仕様書-8	_	A – 4 8	建具表一1 【改作	修後】	1/100	S-20	軸組図-9	【改修前】	1/100			
A - 0 9	特記仕様書-9	_	A – 4 9	建具表-2 【改	修後】	1/100	S-21	軸組図一1	【改修後】	1/100			
A - 1 0	配置図・付近見取図	1/300	A - 5 0	建具表一3 【改作	修後】	1/100	S-22	軸組図-2	【改修後】	1/100			
A – 1 1	敷地丈量図・求積表	1/250	A – 5 1	建具表一4 【改作	修後】	1/100	S-23	軸組図-3	【改修後】	1/100			
A – 1 2	床面積表	1/150	A – 5 2	平面詳細図(便所) 部分詳細図-1	修後】	1/5, 1/10	S – 2 4	軸組図-4	【改修後】	1/100			
A – 1 3	建築面積表	1/150	A - 5 3		修後】	1/5, 10	S-25	軸組図-5	【改修後】	1/100			
A - 1 4	各室面積表	1/150	A - 5 4	部分詳細図-3 【改作	修後】 1,	/5, 10, 30							
A – 1 5	仕 上 表 【改修前】	_	A – 5 5	カウンター・1 【改り	修後】 1	1/50, 150		電気設備	莆 図			機械設備図	
A – 1 6	仕 上 表 【改修後】	_	A-56	カウンター・2 【改り	修後】	1/20, 50	E-01	電気設備特記仕様書	1	_	M – 0 1	機械設備特記仕様書 1	_
A – 1 7	平面図 【改修前】	1/100	A – 5 7	法検討図-1 【改作	修後】	1/100	E-02	電気設備特記仕様書	2	_	M-02	機械設備特記仕様書 2	_
A – 18	平面図 【改修後】	1/100	A – 5 8	法検討図-2 【改作	修後】	1/100	E-03	電気設備特記仕様書	3	_	M-03	機械設備特記仕様書3	_
A - 19	立面図-1 【改修前】	1/100	A-59	屋外付帯図一1 【改作	修後】	1/300	E-04	電気設備特記仕様書	4	_	M – 0 4	機械設備特記仕様書 4	_
A - 2 0	立面図-1 【改修後】	1/100	A-60	屋外付帯図一2 【改作	修後】	1/30	E-05	電気設備配置図		1/250	M-05	衛生器具・衛生機器・桝リスト	_
A - 2 1	立面図-2 【改修前】	1/100	A-61	屋外付帯図一3 【改作	修後】 1/	/20, 30, 50	E-06	改修後受変電設備単	線結線図	_	M-06	衛生設備平面図	1/150
A - 2 2	立面図-2 【改修後】	1/100	A-62	仮設計画図-1 【改作	修後】	1/300	E-07	新設分電盤結線図	1	_	M-07	衛生設備平面図詳細図	1/50
A - 2 3	屋根伏図 【改修前】	1/100	A-63	仮設計画図-2 【改作	修後】	1/100	E-08	新設分電盤結線図	2	_	M-08	空調機器リスト	_
A - 2 4	屋根伏図 【改修後】	1/100	A - 6 4	仮設計画図-3 【改作	修後】	1/100	E-09	既設分電盤改修前後	結線図	_	M-09	空調機器平面図	1/100
A - 2 5	断面詳細図-1 【改修前】	1/50	A - 6 5	仮設計画図-4 【改作	修後】	1/100	E-10	幹線設備系	統 図	_	M-10	計装平面図	1/100
A - 2 6	断面詳細図-1 【改修後】	1/50					E-11	改修後幹線動力設備	配線図	1/100	M – 1 1	換 気 機 器 表 (1)	_
A - 2 7	断面詳細図-2 【改修前】	1/50					E-12	照 明 器 具 3	姿 図	_	M-12	換 気 機 器 表 (2)	_
A - 2 8	断面詳細図-2 【改修後】	1/50		構 造 図			E-13	改修後幹線動力設備	配線図	1/100	M – 1 3	換気設備平面図	1/100
A-29	展開図-1 【改修前】	1/100	S-01	基礎伏図 【改作	修前】 1/	′100 • 1/30	E-14	フル2線伝送信号配	記線図	1/100	M – 1 4	衛生撤去平面図	1/100
A - 3 0	展開図-2 【改修前】	1/100	S-02	基礎伏図 【改作	修後】 1/	′100 • 1/30	E-15	改修後コンセント設	備配線図	1/100	M – 15	衛生撤去平面詳細図	1/50
A - 3 1	展開図一3 【改修前】	1/100	S - 0 3	基礎リスト 【改作	修前】	1/20	E-16	改修後動力設備	配線図	1/100	M-16	既設空調機器撤去表	_
A - 3 2	展開図-4 【改修前】	1/100	S-04	床 伏 図 【改	修前】	1/100	E-17	器具姿図 構内情報通信	三網・交換設備系統図	–	M – 1 7	既設空調設備撤去平面図	1/100
A - 3 3	展開図-5 【改修前】	1/100	S-05	床 伏 図 【改	修後】	1/100	E-18	改修後構內情報通信網・	交換設備配線図	1/100			
A - 3 4	展開図一6 【改修前】	1/50	S-06	梁 伏 図 【改作	修前】	1/100	E-19	改修後弱電設備百	己線図	1/100			
A - 3 5	展開図-1 【改修後】	1/30	S-07	梁 伏 図 【改	修後】	1/100	E-20	改修後防災設備百	7線図	1/100			
A-36	展開図-2 【改修後】	1/100	S-08	水平構面金物伏図 【改修	修前・後】 1/	/100 1/50	E-21	分庁舎非常用電源配	線図・盤結線図	1/100			
A - 3 7	展開図一3 【改修後】	1/100	S-09	トラス伏図 【改修	修前・後】	1/100	E-22	水道庁舎非常用電源	配線図・盤結線図	1/100			
A - 3 8	展開図-4 【改修後】	1/100	S-10	小屋 伏 図 【改修	修前・後】	1/100	E-23	撤去分電盤結	線図	_			

令和5年度		TITLE	SCALE
	。 野庁舎耐震補強・改修工事 設計図	図面リスト	_
/ + /10:	打刀 百顺 医阴茎 以修工学 以时因		

建築改修		章	項 目	特	51	事 項	章	項 目	特 記	事 項	章	項 目	特 記 事
	多 工 事 仕 様 書 	-	③ 環境への配慮	本工事において、国等に (平成12年法律第10 に関する基本方針(平成	0号)に基づく、「現	環境物品等の調達の推進		(1) 技能士の適用 [1.7.2]	* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極	的な活用に努めること。	(19	事前調査等	受注者は以下の規定に基づき、特定建築材料等の有無を事前に記 注者へ書面により説明すること。併せて調査結果の掲示及び所 監督署長並びに都道府乗出事等への報告を行うこと。
工事概要				特定調達品目の分野「公 基準を満たすものとする		皇する場合は、判断の		12 化学物質の濃度	下記により測定し、その結果を監督職員に有	告する。			(大気汚染防止法第18条の15、石綿障害予防規則第3条及び第48
工事場所 5	島根県鹿足郡津和野町後田 口64-6			亜年を向たすものとする	0			測定 [1.7.9]	測定化学物質名:				分析調査(定性分析)を行い、結果を報告する。
地域地区 者	都市計画区域内 (用途地域 指定無し)							[1. 7. 9]	・ ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ ・ エチルベンゼン ・ スチレン ・				(アスペスト含有分析事前調査済み) ・ 試料採取箇所 () 試料数 (
敷地面積 2	2, 634. 85 m²								測定時期: 施工前 施工後				図示による
建物用途后	宁 舍								測定方法:	11中市45	(20	激去部分	○ 図示による ・
	र ≛		4 特別な材料の工法	改修標準仕様書及び標準	仕様書に記載されてし	いない特別な材料の工法			学校施設の工事における環境衛生検査				
棟 別 概 要 No. 建 物 名 称	建築種別 構 造 階数 消防法 建築面積 (㎡) 延面積 (㎡)		及び製品			工法によることができる。 :下記工法又は製品を使			 住宅性能表示制度に基づく測定方法 (ただし書きによる測定方法を含む) 		(2)	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 VO(m/s)
1 庁舎 1	選集を使用			用する。 登録技術		適用簡所	— I		測定箇所: 箇所 測定対象室:				 30 32 (旧益田市、旧匹見町、旧日原町、隠岐郡)
2 庁舎(農林課)	既 存 鉄青造 2 15項 135.00 270.00			2 2 2 10			=11		THE PARTY OF THE P				
3 庁舎 2	既存 木造 1 15項 62.81 56.19												根据衛生 告示第1455号、島根県建築基準法施行細則に
4 水道庁舎	既 存 鉄青造 2 15項 80.85 161.70										(22	2) 施工計画調査	分析調査
5 便 所	既存 木造 1 15項 9.22 9.22)	● PCBを含む可能性のある機器類 現場にてサンブルを採取し、含有の有無を分析する。
6 駐車場管理棟	既存 木造 1 15項 6.50 6.50		5 電気保安技術者	* 配置する				(3) 工事写真	下記のものを提出する。				採取場所 ()
7 油庫	既存 СВ造 1 15項 1.87 1.87		[1.3.3]	資格等は監指表 1. 3	3. 2及び監指表 1.	3. 3による			仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による 区 分 分 類	- サイズ (mm) 提出部数			採取機器 () 採取箇所数 ()
			6) 施工条件	詳細は現場説明書による					工事中	. 2 部			・廃油の種別
			[1.3.5]	計画は気傷が効果により					写真 * カラー (着工前舎)	* 80×120程度			現場にてサンブルを採取し、分析を行う。
	合 計 972.01 1,145.80		(7) 発生材の処理等	引き渡しを要するもの	D					小部全景			採取場所 (採取箇所数 部材が異なる毎に 1 箇所
工事仕様			[1. 3. 12]	()				* 120×170程度 その他			 廃職又は廃アルカリの種別
				現場において再利用を	を図るもの					* 80×120 程度			現場にてサンブルを採取し、分析を行う。
	該されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部			()			電子データ デジタルカメラを使用した場 (CD-R等) 完成写真のデータを記録した	合は、工事中写真及び 1 部 CD一R等を提出する。			採取場所 (採取箇所数 部材が異なる毎に 1 箇所
	#仕様書(建築工事編)令和4年版〔令和4年3月改定〕」 書」という)による。ただし、改修標準仕様書に規定されて			産業廃棄物の処理及び再	(資理化を図るまのけ*	下炉に よる			(注) フィルムカメラを使用する場合は監督				ダイオキシン額
いる項目以外は、「公共	共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版〔令和4年					SEAN DID MACAN 類	萧 考		(注) フィルムカアラと使用する場合は重目	柳野と間報りる。			現場にてサンブルを採取し、分析を行う。
	標準仕様書」という)による。 投備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事			項目品目	300 131 40 131	(Km) (有・無) (有・無) の:	資源化 有無等)						採取場所 (採取箇所数 ()
はそれぞれの工事仕様書	書を適用する。			コンクリート株アスファルト株			有有	(4) 完成図	下記のものを、竣工後15日以内に提出する 仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領によ				 塗膜塗料に含まれる有害物質
特記事項				特定建・コンクリート 設資材 及び鉄から			Ħ		品名・仕名				現場にてサンブルを採取し、分析を行う。
(1) 章及び項目は、番号にC(2) 特記事項は ⊙ 印を適用	用する。			成る建設資材									有害物質の種類 ・PCB ・鉛 ・クロム 採取場所 (
 印の無い場合は、 * ① 印と ③ 印のある場	* 印のあるものを適用する。 合はともに適用する。			・ 木材 ・ 石綿含有吹付ける		30.6 無 有	有		図 表装 (* レザック表紙 (ラミネー *電子データ (PDFデータ、CADデー				採取箇所数 ()
(3) 特記事項に記載の[]	内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。 表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。			刊 · 石總含有保温材理産業	益田市大谷町		=		製本の取りまとめについては監督職員の指示				
		4		廃棄物					設計に関するCADデータを貸与するが、著 にある。なお、貸与されたデータは、当該エ	事における施工図又は	2	騒音・粉じん等の	騒音・粉じん等の対策
項目	特 記 事 項	4		・ 廃プラ その他 ・ ガラス、陶器 3			=		完成図の作成のため以外に使用してはならな	LV ₀	- 1	対策 [2.1.3]	 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
1 適用基準等	* 建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修			ガレキ組締くず	益田市大谷町 益田市適田町		=				仮設工事		* 工事に必要な範囲・
	・公共住宅標準詳細設計図集(第4版)			· ボード類		38.9 有 有		(15) 保全に関する資料	* # #	图 提出部数		.	
	公共住宅事業者等連絡協議会監修 * 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による		8 交通安全管理	以下のとおり、交通の誘		する者を配置すること。		[1. 9. 3]	建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要)	6(- F.Z.)	(2)足場等 [2.2.1]	「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成2・ 4月策定)」による。
	工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版		[1. 3. 9]	配置する位置は別に図示			_		機器取扱い説明書	2 部			H # 7 #
		1 1											
				名 称 人 交通誘導員 A	· 日数 交通9	安全管理の必要な作業等	\dashv		機器性能試験成績書 官公署等届出書類	2 10			外部足場 ・ 範囲 (
) 材料の品質等				交通誘導員 A 交通誘導員 B	380 資材	搬出、工事車輌の出入時	\exists		官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・範囲 (○図示による ・ 設置しない 外部足場の種類
^	一般社団法人公共建築協会 縄集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及じその製造業者			交通誘導員 A 交通誘導員 B 交通整理員	380 資材	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時			官公署等届出書類				・範囲(○ 図示による・ 設置しない
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及び」AGマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を添たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、開版な材料又は品質を認明する資料の			交通誘導員A 交通誘導員B 交通整理員 (注)交通誘導員A、 交通整理員につ	380 資材制 屋外を Bは警備業法に定める いては資格を問わない	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時 る警備員とし、 い。			官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・範囲(
,	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)で、D・事事を進元するのとす。			交通誘導員A 交通誘導員B 交通整理員 (注)交通誘導員A、 交通整理員につ	380 資材制 屋外が Bは警備業法に定める いては資格を問わない 手工事における交通誘導	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時 る警備員とし、 い。		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・範囲 (
,	一般社団よ人公共建築会会 編集 本工事に使用する材料等は、設計の書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJAGマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、開発な材料又は延期を追溯する資料の 人手開放なるの等については、次の1)~6)を考慮の上、監御機員 の承諾を受けて延明資料の提出を省略することができる。			交通誘導員A 交通誘導員B 交通整理員 (注)交通誘導員A、 交通整理員につ 取扱いは「建築	380 資材制 屋外が Bは警備業法に定める いては資格を問わない 手工事における交通誘導	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時 る警備員とし、 い。		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・範囲() 図示による ・ 設置しない 外部足場の種類 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	一般社団人公共建築会会 編集 本工事に使用する材料等は、設計設置に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のにい材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡素な材料又は高度を証明する資料の 入手開放ならの等については、次の1)~6)を考慮の上、監督職員 の未施を受けて証明実料の担比を報することができる。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)験者又は第工の実績があり、その課態だがあること。		9 施工数量調査	交通誘導員 A 交通誘導員 B 交通整理員 (注)交通誘導員 A 交通整理員につ 取扱いば、建築 (営繕課中掲載 1)本工事の施工に先立	380 資村計 屋外2 日は警備業法に定める いいては資格を問わなし エエ事における交通誘導 載)による	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時 る警備員とし、 い。 専員等の取扱い基準」 行う。		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・ 前面(
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計設置に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のにい材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事度に満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡単な材料又は品質を証明する資料の スチ酸なの等については、次の1)~6)を考慮の上、整理職員 の未能を受けて延明資料の提出を結婚することができる。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)製造又は無工の機械があり、存储機能があること。 3)法令等で定めら時可、認可、認定又は全計を影響していること。 4)金質機及び長期の管理が適切に行われていること。 4)金質機及び長期の管理が適切に行われていること。		9 施工数量調查 [1.5.2]	交通誘導員 A 交通誘導員 B 交通整理員 (注)交通整理員の (注)交通誘導員 A、 交通整理員につ 取扱いは「建築 (営橋課中掲載	380 資村計 屋外! Bは警備業法に定める いては資格を問わない 工事における交通誘導 載)による	搬出、工事車輌の出入時 歩道周辺工事時 る警備員とし、 い。 専員等の取扱い基準」 行う。 出する。		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・ 前原 (・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその設重差者 等は、次の1)でも)の事地を通たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、無なら材料又は品更を認明する資料の 入手開放なもの等については、次の1)での)を考慮の上、監管職員 の承接を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は無工の実態があり、その構能性があること。 2) 製造又は無工の実態があり、その情能性があること。 3) 法令等で更めら所で、説明、認定又は会計を影響を用していること。			交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員B 交通禁導員(注)交通誘導員A、 交通禁導員につ 取扱いは「建築 (営経課PP規制 1)本工事の施工に先立 2)施工数量誘済後、整	380 資村計 屋外! Bは警備業法に定める いては資格を問わない 工事における交通誘導 載)による	撤出、工事事業の出入時 歩道周辺工事時 名登録員とし、 い。 帰貨等の取扱い基準」 行う。 ・		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの				・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計商書に定める品景及が転載を有する めとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を通にするのとする。 ただし、使用量の少ないもの、無志な材料又は起源を証明する資料の 入手開題なもの等でしては、次の1)・6)を考慮のよ、監督職員 の承託を受けて証明実料の担比を結婚することができる。 1) 品質及任地に関する試験アークが整備されていること。 2) 競名又は無工の系機があり、その信頼性があること。 4)生産施設及び出資の管理が適切に行われていること。 5)実件等で変める呼吸、変更、変更な実体を影響していること。 6)対料及び接着別等のホルムアルデヒド旋散量はドムセネセナる。 6)対料及び接着別等のホルムアルデヒド旋散量はドムセネセナる。			交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	撤出、工事事業の出入時 歩道周辺工事時 名登録員とし、 い。 帰貨等の取扱い基準」 行う。 ・		16 関連他工事	官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの			跨及配心价率件	・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計級書に定める品景及が転載を有する ものとし、JIS及びJAGマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、需なな材料などは高更を認明する資料の 入手間域なもの等については、次の1)~6)を考慮のよ、監管機員 の未能を受けて延明異和の単近を輸射することができる。 1) 品質及び性能に関する試験でラケが整備されていること。 2) 競差又は能工の実績があり、その信頼性があること。 3) 進令で求める所可、認可、認定又は全計を取得していること。 4) 単価能数とが最初で無であるでは、当該機会は下されなっとさる。 6) 材料及び接着制等のホルムアルテレト放散量は下されなっとする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合と、 対するものとし、同等品を使用する場合は、監管機会の本紙を受ける			交通誘導員A 交通誘導員B 交通整理員E 交通整理員E 可 取扱いは「建築 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量調素後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査範囲	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 参連展立工事時 を整備員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の	官公署等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- タ (CD-R等) * 1部		: 既存部分の養生 [2.3.1]	・顧問(
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品景及が転能を有する ものとし、JIS及びJAGマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、開意な材料などは高形を説明する資料の 入手間度ならの等については、次の1)~6)を考慮のよ、監督機員 の未能を受けて延明異和の単近を輸引することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 競争な理能工の実績があり、その信頼性があること。 3) 強争で定める所可、説可、説定又は全計を影響していること。 3) 法令者で求める所可、説可、説定又は全計を影響していること。 3) 法令者で求める所可、表面、説を実力は会計を影響していること。 6) 受験がな締ねるび修文等の営業体制が増えられていること。 6) 代料及び接着側等のホルムアルデレト放散はドナムウェンとする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合は、監督機会の本部を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、投計図書に定める品質及び性		[1.5.2] 10 調査のための	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 参連展立工事時 を整備員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			官公署等届出書稿 その他監督職員が指示するもの 建業物等の利用に関する説明書の電子デー	- タ (CD-R等) * 1部			・顧照(
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品景及が性能を有する ものとし、JIS及び18をマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~65 の事理を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡素な材料又は悪産を顕明する資料の 未手順数なもの等については、次の19 大手順数なもの等については、次の19 大手順数なもの等については、次の19 大手順数なもの等にのでは、次の19 大手順数なが最近に関する試験データが整理されていること。 2) 製造又は建工の実験があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定めら時可、認可、後定又は免許を影響していること。 4) 注意指数なが追求の方状が適切に行われていること。 5) 契定的な体験の変数を繋が過気とられていること。 6) 材料及び接着制等のホルムアルデヒド放散量は下さな女女とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又に即等品を使用する場合は、整督職員の承諾を受ける ものとす。 たた、これらの材料を使用する場合は、整督職員の承諾を受ける ものとする。		[1.5.2] 10 調査のための 破壊部分の	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 参連展立工事時 を整備員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の	官公募等届出書稿 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- タ (CD-R等) * 1部			・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品景及が転載を有する ものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を通えすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡素な材料なは温度を顕明する資料の み果随を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 最限及び抵拠に関する試験データが整理されていること。 2) 減差及び抵拠に関する試験データが整理されていること。 3) 法令等で定め合同で、扱可、設定又は免許を取得していること。 3) 法令等で定め合同で、扱可、設定又は免許を取得していること。 6) 対対及び接続の指数が通知に行われていること。 6) 対対及び接続の指数が通知に行われていること。 6) 対対及び接続を対していること。 6) 対対及び接続を指していること。 6) 対対及び接続を持ちまります。 なお、商品をが記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合は、整管額長の承諾を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性 数を有することの提明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写 した整整機関に提出して未就を受けるものとする。 たたし、日間等となる資料又は外部機関が発行する資料等の写 した整整機関に提出して未就を受けるものとする。 ただし、社間及人科建設金機構工・条件「従業材料を設備機材等品		[1.5.2] 10 調査のための	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名 (18) 施工図及び	富公募等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・ ・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASマーク素元のにい材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量のかないもの、簡素な材料又は底形を認明する資料の 未予題なるものでいっては、次の1) ~6)を増加する資料の 未予題ななるのでは、では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では		[1.5.2] 10 調査のための 破壊部分の 補修方法	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名	官公署等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(
	一般社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJASフマーを表示の以材料及びでの設置差看 等は、次の1)でも)の事地を通えすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、無なら材料又は品別を設明する資料の 入手開版なもの等については、次の1)・の)を考慮の上、監管職員 の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 財造又は無工の実態があり、その確略性があること。 2) 財造又は無工の実態があり、その確略性があること。 2) 実治及びは無なの実施が通常に行われていること。 4) 生産能投資が品別の管理が通常に行われていること。 5) 受実的な解放の任何等の需要は無対態を入れていること。 6) 材料及び接着削等のホルムアルデヒド放散量はF×××××とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合は、監管職員の実施を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、監管職員の実施を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、監管職員の実施を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、配管機関を行きる音及び性能を有することの証明となる資料が発展器が発行する音及び性能を有することの証明となる資料が発展器が発行する資料等の写した整管職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共選集協会議論、条行「従来材料・設備機材等品質性配料を開発しています。		[1.5.2] 10 調査のための 破壊部分の 補修方法	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名 (B) 施工図及び 施工計画書	富公募等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・ ・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計回書に定める品景及が転載を有する めのとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の11〜61の事態を通えすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、無ちな材料又は起源を証明する資料の 未発展なるのでいっては、次の1)・60とそ連のよ。整質機員 の承託を受けて証明資料の担比を結婚することができる。 1) 品質及任税が開する試験すったができる。 2) 競争又は無工の機能があることができる。 3) 就会で定数工の機能があること。 3) 就会で定数工の機能があり、その機能があること。 3) 就会で変める所可、想可、想定又は会許を取得していること。 3) 就会で変める所可、表面、想定就性があること。 3) 就会で変める所可、表面、想定がは分析である。 50 実質的な機能な任命である意味物が至えられていること。 6) 材料及び持着例目のホルムアルデレトに放動値は下かなかな土する。 なお、商品をが記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合と、監督部員の実施を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、監督観点の実施を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、監督図書に変める品質なび性能を有することの証明となる資料又は外機能能が発行する資料等の写したを監督組織に提出して承証を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、配け図書に変める品質なび性能を有することの証明となる資料又は外機能能が発行する資料等の写した性能能視し、提供的は、企業を対して承証を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、数性図書に関する資料等の写した性にして承証を受けるものとする。 環境技術を関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に対している。 「最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、またものでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、またものでは、またものでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、最初に関係を表現しませないでは、またものでは、またりのでは、またものでは、またりのでは、まためのでは、またりのでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またまためのでは、まためのでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、まためのでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またものでは、またまり		[1.5.2] 10 調査のための 破壊部分の 補修方法	交通誘導員A 交通誘導員B 交通誘導員C 交通整理員(こ) 取扱いは「建築 (営語採件別報 1) 本工事の施工に先立 2) 施工数量開業後、整 3) 調査結果を考慮し、 調査結果を考慮し、 調査方法	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名 (B) 施工図及び 施工計画書	富公募等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・ ・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(
	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク素売のにい材料及びその製造業者等は、次の1)~6)の事項を満たするのとする。 特は、次の1)~6)の事項を満たするのとする。 大だし、使用量の少ないもの、簡素な材料又は高度を証明する資料の 入来随を受けて証明異和の担比を結算することができる。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)競争又は生態に関する試験データが整備されていること。 3) 法令等で定める時可、認可、認定又は全計を取得していること。 3) 法令等で定める時可、認可、認定又は全計を取得していること。 6) 材料及び接着制等のホルムアルデヒド放散量は下☆☆☆☆する。 6) 材料及び接着制等のホルムアルデヒド放散量は下☆☆☆☆する。 6) 材料及び接着制等のホルムアルデヒド放散量は下☆☆☆☆する。 6) 材料及び接着制等のホルムアルデヒド放散量に下かる合意と使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの記号となる資料又は外部網膜が発行する資料等の写した影響を対することの記号となる資料又は外部網膜が発行する資料等の写したを整質観測(注UTD に不測化受けるのとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集 - 発行「提集材料・設備機材等品質性設好事業・複数材料が開始。機能対する近く同能数		[1. 5. 2] 10 調査のための 破壊部分の 補修方法 [1. 6. 3]	交通器導員A 交通器導員B 交通器導員A 交通器導員A 交通器導員A 交通器導員C 支通器導列 (電極語PRM 1) 本工事の施工に先立 2) 施工教証例表映 型 2) 施工教証例表映 型 (電極語PRM 1) 本工事の施工に先立 2) 施工教証例表映 型 (電極語PRM 4) を (電極語PRM 4) を (電面是PRM 4) を (電面是PRM 4) を (電面是PRM 4) を (((((((((((((((((((380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実験を関わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 があまると が成れる ・ 外型 (底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名 (B) 施工図及び 施工計画書	富公募等届出書館 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・ ・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(
5 年度	一級社団法人公共建築協会 編集 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する ものとし、JIS及びJAGマーク表示のない材料及びその製造業者 等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量のかないもの、開意な材料又は延期を使用する資料の 未予服務なもの等でいいては、次の1)。一会)を考慮のよ、整理機関 の承諾を受けて延明資料の提出を結婚することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 競索又は地上の実験があり、その機能があること。 3) 法令者で求める所す、認可、認定又は全計を取得していること。 5) 変更的な総数とび保守等のご業体制が増えられていること。 6) 研究及び接着刑等のホルムアルデレド放散量は下立々立立する。 2た 高島名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用する場合は、整計開することの上間場品を使用する場合は、整計開業の承諾を受ける ものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計開業の本語を受ける ものとする。 と整理機関人に関いて実施を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建設材料・設備機材等品質性影響等は、運動材料等が最高の機能的」及び性酸を有いていては、 形定の品質及び性能を有しているものとする。 「TITLE	[æ	[1. 5. 2] 10 調査のための 破壊部分の 補修方法 [1. 6. 3]	交通推導員名 交通推導員名 交通推導員名 (注)交通推導員人 、交通整理員工 取配、注解 取配、注解 1)本工事の施工に先立 2)指工教皇所至後 2)指工教皇所至後 指 類面、注解 新 新 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	380 資材計 屋外2 Bは警備業法に定める いては実施を問わない に工事における交通誘導 版)による たち、施工数量調査を促 がまるを選供 施工計画を作成する。 ・ 外壁(底 ・ テストハ	激出、工事業額の出入時 多連貫辺工事時 る響震員とし、 い。 得責等の取扱い基準」 行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		17 特定元方事業者の 指名 (B) 施工図及び 施工計画書	官公募等届出書報 その他監督職員が指示するもの 建築物等の利用に関する説明書の電子デー ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・ ・・・	- タ (CD-R等) * 1部 に基づく指名を行う。			・顧問(

章	項目	特 記 事 コ	頁 章	項	目	特	記 事	ij	Ą	章	項 目	特	51	事	項	章	項	目	特	58	事	項
	4 仮設開仕切り [2.3.2] 5 監督員事務所 [2.4.1]	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表2.3.1) A種、B種の素面板 ・ 石膏水下(t=9.5m) ・ 合板(t=9mm) A種、B種の作画塗装等 ・ 行う(仕様) ・ 行わない (仮設票の種別 ・		5 アスファルト [3.3.2~5]	防水	* A-2 • A-3 B • B-1 * B-2	施工箇所 断熱材	シート ****リエチレン ・ 前 フィルム厚 さ ・ コ 0.15mm ・ オ	立上り部の 保護工法 乾式保護材 カンツー・押え れんが押え JISR1250			* 改修標準・JIS A 601: 用途構成	仕様書表3.3.3から: 3に基づく種類及び。 る区分 ・ による区分 * 「 (mm以上)	種 -フィングシートの8 表3.3.9による ・ 厚さ			6 合成高分子 フィングシー [3.5.2~4]		立上り部の押え金物 * アルミニウム4 絶縁断熱工法の防水 ・設置する ・設置しない 防水層の種別	ルトシートの製造 Iの材質、形状及で 製 L-30×15×2.	所の指定 ・ パ寸法	(個) 高日射 反射率
	6 現場事務所	世上1: 横 島: 設 横: 設置できる (・敷地内 ・敷地内 (設置可能場所:))			· P1I	• AI-3	に基づく 押出法ポ リスチレ ンフォー ム断熱材 3種 b A (スキン層 付き)	/m2程度 -				脱気装置の設置 * アスファ 屋根露出防水能 り部周辺の断敷 * 図示によ 屋内防水	ルトルーフィング覧 製製量 ルトルーフィング覧 縁断熱工法の場合。 対の張りじまい位 る		(個) リ及び立上		[表3. 5. 1~3]		工法 種別 - POS - S-F1 - S4S - S-F2 - S-M1	箇所	種類 使用量・ ・製造門 の仕札	の防水 ・適用
	7 工事用電力、水、 その他	構内既存の施設 工事用水 ・利用できる(有償) ○ 利用できない 工事用電力 ・利用できる(有償) ○ 利用できない					(厚さ) *25 *50 ・	ī è				保護層 ・ 設	・E-1 *E-2 程3を行う部位 諸・一様等常時水に接す ける(* 図示によ	る・)	保護層 ・ 設ける ・ 設けない) ・ 設けない				• S-M2			・適用 する ・適用 脱気装置 する ・設ける
	8 仮囲い及び出入口	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。			٠.	改修標準仕様書表3 JIS A 6013に基づく 用途による区分 材料構成による区5						* アルミニ	金物の材質、形状 ウム製 L-30×15× ・ 図示による	2.0mm程度 ·					• S-F2		の世末	・適用 する ・適用 脱気装置
	⑨ 養生シート	設置範囲 - 顕示の位置 - 外部足場企画 東生シートの種別 - 東生シート - 防炎は類 - 防炎は類 - ネット体養生シート - 防炎は類 - 防炎は類			部分:	厚さ (r 粘着層付改質アスファルト	nm以上) ルーフィング・シートの種類及び厚さ .3.3から表3.3.9による 種類及び厚さ ・ ・ ・ R種				5 改質アスファルト シート防水 [3.4.2、3]	屋根露出防水 防水層の種別 工法 種 ・MA4S ・AS- ・AS-	т1	位上塗料 種類 使用量 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・適用				- S-M2 - T法 種別		*製造門 の仕札 断熱材 かタンフォーム断熱材2種2 - 50 -	する ・設ける ・設けない ・適用 する
	10 洗 車 場	設置箇所、材質、構造及び設置期間は優示による。										• AS- • M3AS • AS- • POAS • AS- • AS-	J2 T3 T4 J1	の仕札 ・ *製造門 の仕札	# ・適用 脱気装置 f する ・設ける # ・設けない				POSI SI-F1	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量	· 適用 脱気装置
	11 木製安全施設製品 (県産木材製品)	* 工事用者板 (表示板1, 400m×500m用) 2台 * 工事用がリケード 5台 ・工事用機形板 (表示板1, 400m×1,100m用) 台 (注)取り扱いは平成25年3月8日付営第945号による			金屋を	押出成 属複合板:金属板と 根露出防水 防水層	5工 仕上塗料 5所 種類 (たもの。)。 高日射 反射率 の防水	備考				Я	斯熱材 度ウレタンフォーム斯熱材2種 ・50 ・ 仕上塗料	高日射 反射率 の防水 備考	11 1			- S3SI - S4SI - M4SI - SI-F2 - SI-M1 - SI-W2 S-F1、S-M1 * 非歩行仕様		・ ・ ・ 製造P の仕を	・適用 する ・適用 ・設ける ・ 設けない
防水改修	① 降雨等に対する 養生方法 [3.1.3] 2 既存防水の処理 [3.1.4]	* 改修標準仕様書3.1.3(5)(f)~(f)による。 ・ 既存保護層の搬去 ・ 行う (範囲 * 図示による ・) ・ 行わない			- M3	• C-3 • C-4		の仕様 ・適用 製造所 する の仕様	脱気装置・設ける・設けない改修用ドレ・設ける					* 製造所 の仕相	f する ・設ける ・設けない 改修用ドル・ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける				SI-M1及びSI * 設置しない SI-M2の絶縁用 * 発泡ポリエチ S-M2及びSI-	- M 2 におけるが ・ 設置する !シートの材種 レンシート ・ M 2 の立上り部の 上がり面のシート		
	[3.2.3、4、6] 3 ルーフドレン回り の処理	展存紡水棚の搬去 ・ 行う (範囲 * 図示による *) ・ 行わない			- P0	DI *DI-2 (種類 DI (厚さ	断熱材 :- 9521 (建築用断熱材) に基 (1) * 硬質 (1) * で (2) * 25 - 50 - 仕上塗料 (推類 使	づく発泡プラスチック断種2号 - 高日射 反射率 の防水	一設けない			* 改修標準 - JIS A 601: 用途によ 材料構成 厚さ	3に基づく種類及び る区分 ・ による区分 * I (mm以上)	表3.4.3による ・ 厚さ 種	- 設けない]			歴内防水 防水層の種別 種別 施工箇所 ・S-C1	塗 厚	保護暦 Eルタル塗り 工法 床塗り 下地モMタA塗り	立上り部の保護 モルタルの塗厚 * 7mm以下
	[3.2.5] 4 販存下地の処置 [3.2.6]	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 國所による 国所には、機械的固定工法)の既存保護層を撤去し 防水層を非被去とした立上り暗等の処置 ご传媒郷社科学家2.5名(の)(の)(の)による 投機機器学台、配管受郵、パラベット、貫通パイブ回り、手すり や丸塊の取付け場、塔世出入口跡、防水層末端部の肺末り部の処理 國所による。だたし、因所が無いものは監管器員と協議する						・適用 製造所 する D仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない			* 改修標準 ・JIS A 601: 用途によ 材料構成 厚さ・・ ・がお着層標準・・ ・JIS A 601: 用途によ 材料構成	3に基づく種類及び る区分 ・ による区分 * 「 (mm以上) で質アスファルトシ	表3.4.3による ・ 厚さ ・ 種 ・ 一トの種類及び厚さ 表3.4.3による ・ 厚さ					厚さ (・ 固定金具の材質及び * 防錆処理した。	ィングシートの利 書表3.5.1から表3 づく種類及び厚さ 分 * R種 mm以上) 「寸法形状 調板、ステンレス銅板又 樹脂を積層加工し	重類及び厚さ .5.3による ・	
令和	口5年度 津和野庁		建築工	【改修後】	SCALE 2 -							ı							設計年月日		計担当	A — 0 2
	/ + (1) = 1 1	口言 外下 人名英格兰																	2024 * 0	''		A - 0 2

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
7 塗練防水 [3.6.2、3]	脱気装置の種類及び設置数量 接着工法の場合の脱気装置の種類 ・	10 7A3-2小製笠木 [3.9.2、3] 11 施工保証書	種類 ・オーブン形式(・押出250秒 ・押出300秒 ・押出350秒) ・ 毎月折曲打形(・オーブン形式 ・シール形式) ・ 本体幅() mm 極厚(*2.0mm ・ mm) 表面処理 種別() 種 ・ 色音等・標準色() ・特注色() ・ 新工芸本場を製造・ 千分() 毎間 ・ 図房・) ・ ・ 市行ない ・ 対域・ では、 ・ の の では、 ・ では、		3 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.11~16]	* モルタルを撤去しないで改修 ・ 7カインング 部分は 1分間膨出入工法 ・ 7カインング 金面は 7分間とカス工法 ・ 7カインング 金面は 7分間とかりが、1分別に入工法 ・ 注入口付かたじング 金面は 7分間のは 1分間配入工法 ・ 注入口付かたじング 金面が 7分間のは 1分間配入工法 ・ 注入口付かたじング 金面が 7分間が 1分間が 1分別 1分配 1分別		3 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.4.5, 7, 8]	・タイル部分強暴え工法 接着外の機能 ・ギリマセントはが ・ 外級がは接着所強りの接着所 ・タイル機能ス工法(下地モルタルを撤去する場合) 起付サモルタルの材料 ・ 現場固合材料 ・ 現場合材料 特能観整目を起びびび終れ発見目的の位置 ・ 改修標準は特書長4.4.2による ・ 外接が48.7.1 地勢の下性比が及び下地調整村塗りの接着力試験 ・行う ・行わない ・ むりはがよこよるが4、(対2)が43.3 強リ タイル後列の工法 ・ 外接が46、一部階級リ ・ 改良圧着疑り) ・ 12、12分46.4 で 7.0分46.3 強リ 日地話か ・ 行う 下わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目別し工法 ・ アンド 材の扱いが表 伸縮膜器目転その他の目他 ・ 変元がフン系 伸縮膜器目転その他の目他 ・ 変元がフン系
	- X-H	4 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] 1 [4.2.4、5、6、7] 外 壁改修 「工事 (コンクリリート 打放	工法の機額	4-3 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁	1 タイルの形状、 寸法等 [4.4.5、8]	9 イル部分議替え工法及びタイル議替え工法用接着剤の機類 ・ JIS A 5557による一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系 タイルの形状、寸法等		4 浮き都改修工法 [4.1.4]。 [4.4.5、9~15] [4.5.9~15]	・アルセンニグ 部分は 杉樹園注入工法 ・アルセンニグ 金面は 杉樹園注入工法 ・アルセンニグ 金面は 杉樹園注入工法 ・ 注入口付アルセンニグ 面が 70年 70 50年 70 5
(8) シーリング [3.7.2,3,3.7.7]	シーリング改修工法の種類 ・シーリング政修工法・ ・シーリング東党集工法 ・ シーリング東党集工法 ・ ガリッジ工法 ・ ブリッジ工法 ・ ボンドブレーカー等リ ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材をリ ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類・ 振工箇所 ・ 下表UNは、必修理者仕様書表3.7.1による ・ 施工箇所 ・ が熱水切り ・ 仕上げを行わない施工箇所 ・ 個別による ・ 打撃目地 ・ プーリング材の目的対法 ・ 改修標準仕様書3.7.3(1)による ・ 接着性試験 ・ 服別による ・ 打撃目地	し仕上げが外 2 欠機部改修工法 [4.1.4] 4 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] 4 1 (4.1.4] [4.3.5, 6, 7, 8]		外壁)	2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、6]	見本検査 - 行う (施工箇所:) * 行わない * 行う (施工箇所:) * 行わない * ライルを撤去して改修 下地モルタルマ (療法後の) * 行わない * ライルを検去して改修 下地モルタルマ (療法後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁 改修工事 (コングリート刊放し仕上げ外壁) による モルタルを存身した場合のモルタル場がの改修は、4-3 外壁改修 モルタルを発力した場合のモルタル場がの改修は、4-3 外壁改修 ・ 樹田法人工法 * 工法 (世界) (ひび割れ幅 (m) 注入日間隔 (m) 注入量 (加人 (加) 注入 (加) (加) 注入 (加)			・ポリマーセメント等ルタル ・対象のイル接着和減りの接着剤 ・タル機能ス工法(下野生ルタルを搬走する場合) 球付けてルルのは料・・製機能合材料・・既認合材料 仲総調整目地及び切り割れ競発目地位置 ・改修線準と特慮を表しましたよる・・ 対象が48シア・海角の下地出め返び下機調整材並りの接着力試験 ・行う・・/ たわない ・ かとは私によるが4(や): かりは後り ・が整けれ(・電器張り・改良圧着張り・改良権上げ張り) ・ メーシッドは、1つの後り・・ でりが後期り ・ ボーンドルド・コの強り・・ は、1分の後期り ・ ボーンドルド・コの強り・・ は、1分の後期り ・ ボーン・ カーン・ カーン・ カーン・ カーン・ カーン・ カーン・ カー・ ・ 神総調整目地その他の目地・・ またパッシス系・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
(9) EIN [3.8.2.3]	といの材種 ・ 配管用網管 ・ 視覚ボリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ・ ステンレスを材表網筋触着製 (タニタハウジングウITYSUSCU スーパー鋼製とい同等品) ルーフドレン 種別 地工箇所 ・ ろく理様用 (・ 報型 ・ 模型) ・ パルコニー用 ・ パルコニー中観用 ・ 水ルコニー中観用 ・ 水ルコニンを検索・ 模型) ・ 水ルコニンを検索・ で 検索・ で 表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を	外壁改修 大事 (モルタル 塗仕上げ外壁) 2 欠済 (4.1/4] (4.8.9,10]	- 季助式 0.5以上1.0表面 50-100 + 40 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -			150-210 130 130 130 130 130 140 130 130 140 130		5 目地改修工法 [4.1.4] [4.4.6、16]	- 自他のび割れ部改修工法 神経調整目地改修工法 神経調整目地の位置及び寸法 * 関示による ・
令和 5 年度 津和野庁		【改修後】 SCA 工事仕様書 — 3	性上げ薄叉は全型薄が25mmを超える場合の措置 ・ 図示による - ・					,	設計年月日

章	項 E	特	58		事	項	章	項	目	特	記	1	事項	章	項	目	特		記 事	項	章	項目	4		記	事	項	\neg
4-4 外壁改修工事(仕上塗材仕上げ外壁)	1 既存塗膜等の除 下地処理及び下± [4.5.4] 2 下地調整材 [4.5.2]	エ・サンダ- ・ 南圧水: ・ 南圧水: ・ は出圧力 ・ 3000 ・ 1000 ・ 金額は・ 水洗いこ ・ 水洗いこ	工法 ● 既存 王法 ● 既存 Pa~50MPa Pa~100MPa MP GU上 単数 施対工法 ● 既存 法 学び 変援 ・ 切っ ・ 切っ ・ 切っ ・ 対っ ・ がっ ・ がっ ・ がっ ・ がっ ・ がっ ・ がっ ・ ・ がっ ・ ・ ・ ・ がっ ・ ・ ・ ・ がっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	仕上げ面全体 仕上げ面全体 ダーエ法、高に はく離剤工法の の既存仕上面が 管配慮改修工事	- 図示による - 図示による - 図示による 王水洗工法、 カ処理範囲 全面	打放し仕上げ 外壁) 4-3外壁改修	5 建具改修工事	① 改修工法 [5.1.3] 2 防火戸 [5.1.4]	·	新規建具周囲の 適用する 指定値 火戸の自動閉鎖機 火戸感知器とのま動 生連動させない ・連動させない	・ 外部・・ 内部・・ 内部・・ 内部・・ 内部・・ 内部・・ 関係によび範囲・ ・ 関係によるび範囲・ ・ 関係によるで称及が表現である。	こよる * 図示! 5 ・ ズ装置 る ・	による ・) 重、熱感知器又		8 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]		外部に面す。 防音ドア、 耐燃ドア 耐震ドア 耐震性能 建築条構造材 パンな類板の材 くつずりの仕 ガンな類板の厚。 機体類の厚。 標本型鋼製建」	ドアセット 9 7 7 8 7 8 7 8 9 7 8 9 7 8 9 7 8 9 9 9 9	福世の泰嶽 - A - 3 米世代の泰嶽 - W - 1 ・ S - 5 ・ S - 5 ・ S - 6 連音性の李嶽 (画内皮粉追促性の等級 (画内皮粉追促性の等級 (・ K - 5 ・			(4) 自閉式上吊り引 装置 [5.0.3] 15 重量シャッター [5.11.2、3]	性能 * で 種類 アの開閉 防縛 凍結防止 性能等	車椅子使用者用係 大 (サー・熟線セサ・・ 975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 1975A/75・・ 2015A/75・・ 2015A/75・ 2	押し釦スイッチ 線式タッチスイッチ スイッチ ・非接触ス い 適用しない よる ・ ター マッター		
	3 仕上學材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]	仕上塗材の 種 類 ・薄付け 仕上塗	呼び名 ・ 外装薄塗材 S	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	**	儀考		3 見本の製作等 [5.1.5] 4 防犯建物部品 [5.1.7] 5 アルミニウム [5.2.2~5] [表5.2.2]	製建具 性	殊な建具の仮組 適用する 適用態 総値等 耐風圧性の等級(・ 改修標準はある) ・ A種(・ ・ B種(・ ・ B種(・ ・ B種(・ ・ B種(・ ・ B種(・ ・ B種(・	#表5.2.1による種別 建具の種別 すべて・ 図示による すべて・ 図示による すべて・ 図示による サッシ	い 5 及 5・・ (・ (・ (・ (・) 、水密性の等級()))))		(9) 綱製軽量類 [5.2.2][5.5.2~4]10 ステンレス製剤		防音ドア、II 断数ドア 耐震ドア 鋼板の材料 * 亜鉛体のオ 形状及類板の材 形状及切の厚。 習合せ、擬小 標準型類製軽1 性能値等(・II 性能値等(・II	ドアセット 方音サッシ 所熱サッシ ・ ビ網 板 * SUS30 解析 * 使用 板	通用する	vレス鋼板 ・			開開全路 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	部に設ける重量計 動装器 急 中下付 に知 まる を設けた! に知 まる を設けた! といまする 古しる防 の間に関係告 テーケース フターのシャッケーケース を軽質 * JI の付着量 * ZI	助式 (手動併用 停止装置を設け 電動式シャッチーの が よ が に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	強度()・手動式 ナた電動シャッターの計 設置箇所 * 図 設置箇所 * 図 設置箇所 * 図 と書方法を定応合す ・ 設けない ・ 設けない ・ 設けない ・ 数日報報報 ・ 数日報報 ・ 数日報 ・ ま	示による ・ 置箇所 :」(昭和48年 るもの	
		- 報報 仕上走付	・ 外袋原 連相 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ 凸部処理 ・ ひまこし ・ 吹 凸 の ず 肌 処理 ・ 中 凸 凸 凸 型 模様	世 ・ 文付け 世 、 文付け 氏 ・ 文付け - ・ 文付け - ・ - ・ 文付け - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	耐快形 (種) 耐快形 (種) ・ アクリル系 - シリカ系 - シリカ系 - アクリル系 - アクリル系 - 溶線 - 溶解 - 溶解 - 溶粉 - 溶粉 - っぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっぷっ		6 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3]	籍取	状及び上げ上げ かの見い を見い があります。 かの見い を見い を見い を見い を見い を見い を見い を見い を	種 BB-2種 - BB-2E - BB	注色 ()・	Z (#SUS443JI ·)) ptb色 ()	rý1	[5, 2] [5, 4] [5, 4] [5, 6, 2~5] [5, 7, 2, 3]	杨	無馬気密型 外部に画す: 防音ドア、1	ドアセット この に	通用する	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		16 軽量シャッター [5.12.2~4] 17 オーバーヘッド [5.13.2、3]	が (いっ A	、までき、雨極のふた、 ・ 下端・ 73版のふた。 ・ 下端・ 73版のふた。 ・ 下端・ 73版のふた。 ・ 一般では、 1 ・ 一をは、 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・	に用いる庫板2 上の材質 SUS304、SUS43 動式 ・電動 か) N / m2 電動式/+7テーの 運動が、1+7テーの ・ 206又はF06+ に55%が下に7ルー3・ ・ 207とはF06+ ・ 207と対した7・ ・ 207と ・ 207と	なび庭板のか・、 DJIL又はSUS443。 に (手動併用) 設度整所 は及び顕板) に満足音をもの ・ラカに アラル・アラル・アラス 現板製品 関閉方式 タードンス ・ドラス式 ター・アンス ・アー・アンス ・アー・アンス ・アー・アンス ・アー・アンス	雨掛りに 1 ・ 板及び顕版) (}
	4 マスチック 塗材 (4.1.5) (4.6.2) (表4.6./1) 5 外健用塗膜防水 塗り (4/1.5) (4.7.2) (4.7.1)	改修用 上げ塗4 種別・ / 仕上げの形 工法 本の	新聞堂材する 日本	平たんりささ波明りゆす肌り・ 耐快性	 た ・ ローラー 塗り ・ 吹付け 20 5 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1			① 树脂製建具 [5.2.2] [5.3.2~5]	性· 外 彩 表取	総信等 耐風圧性の等級情報を任任者 ・ 改修標準化性者 ・ 心理性・ ・ 応程・ ・ 防音 ドア・ ・ 防音 ドア・ ・ 防音 ドア・ ・ 所参・ H - 日 図菜の ・ 日 図菜の ・ 日 図菜の ・ 日 の 日 本 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	ままままままままままままままままままままままままままままままままま	及()、 5.5.5等。 级 図示(-6.	、水密性の等級()))) · T-1・T-2 による・) H-7 ・H-8		(2) 鍵 (5.8.4) (3) 自動ドア (5.9.2、3)	朔閉装置	本製選集に使びいた 第 図示によ マスターキー る 鍵の製作本数 本 鍵落 引き戸用駆動 性能 ・ 改修標 様特で使用者 性能 ・ 改修標 ・ 本 ・ 本 ・ ・ で ・ 本 ・ ・ で ・ 本 ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	用する戸事及な (ーハンドル、 る (1 組 室名4 に 1	JU-Du *標準性格書表5.8 押板類、クレセントの取付け) ・製作しない ○ 阪存 付き) ・ 設けない 9.1による ・ SSLD-2 ・ BSLD-1 ilを戸用駆動装置	位置			電動式夕	- ヴ·529-(7'		電動式・ハ・ハ・	・ハッド 系 がっき 鏡 かっき 鏡 かっき 鏡 かっき 鏡 かっき 鏡 かっぱ がっぱ かっぱ がっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ か	板
令	和 5 年度 津和野	·庁舎耐震	補強・改	修工事	設計區			改修後】																024 • 01			A — 0	4

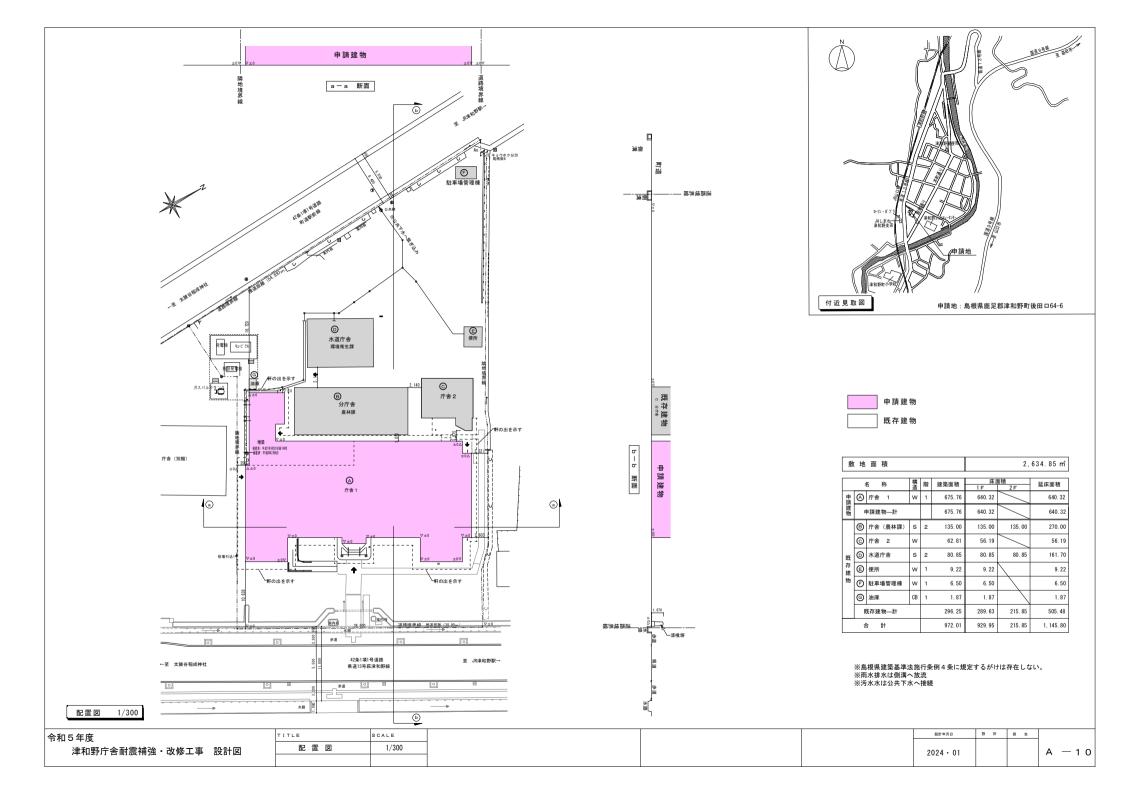
章 項 目	1 特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
(18) 木製建具 [5.7.2~4]	建具材の加工、組み立て時の含水率 * A種 ・ ・ フラウン戸 表面材の44/3/47 に* 放散量等 ・標準仕様書16、7.2(2)(f)(a)による 表面材の意質等		ガラスの宿め材及び浦の大きさ - 謹具の種類 ガラス宿め材 が 5.73.清の大きさ (mm) アルミニウム製 * シーツゲ 材 * 謹具の製造所の仕様 による * ・	③ 既存壁の撤去及び 下地補修 [6.3.2]	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 * 改修標準仕格書4、3.10によるも54度り (仕上げ厚又は全堂厚25mmを超える場合の処置 * 図示による)		- JAS 3079に基づく直交集積板 施工 品名 強度 種別 接着性能 協所 品名 強度 種別 (使用環境) 樹種名 寸法(mn) 備考
	会板の線類 規格等 備考 ・普通合板 集郎の梯種 生地、透明塗料塗り (*77)合板程度 - ・ア西側塗料塗り			4 木材 [6.5.2]	- JAS 1083-5 製材 - 第5郎に基づく下地用製材 超工医所 寸法 (mn) 等級 含水平 処理 領考 - 2 級 + A種 ・B種	② 含板等	・療道合板
	(* L 化合板程度) 板面の品質(・広葉樹1等) 技術の程度(・1類 - 2類) ・天然木化粧合板 機種名(技術の程度(・1類 - 2類) ・特殊加工化粧合板 (杜斯江の方法	-	樹脂製 * シーリンゲ材 * 建異の製造所の仕様 よ ガラカ * パイジング チャンキ * による * ・ パイジング チャンキ * ・ ・ ア・イング ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・ 2 級 *A種 ·B種 · B種 · JAS 1083-2 製材 - 第2節に基づく連作用製材	[6. 5. 2]	施工 厚さ 単板の 接着の 報恵の品質 防虫処理 係考
	(・オーバーレ(・ブリット・塗装) 表面性能()) が7 接着の程度(・1類 - 2類) ・ミディガギンウィ 表裏面の状態による区分() カイバーボード 曲げ致きによる区分() (MDF) 接着れよる区分()	20 がラスプロック積み [5.14.5]	表面 呼び寸法 厚さ 色旗 目地幅 (m) 年紀開整 防火 形状 (m) 797 乳白 干積み 曲面積み 1地位置 性能 工方形 160×160 ・55 ・ ・88・15		#在 医所 寸法 (mn) 等級 含水率 知徳 備考 見え掛り面 * 上小節 * A種 * B種 見え掛り面 * 小節以上 * A種 * B種 以外 * A種 * B種		*C-D以上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			- 125 - 125		- JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法(mn) 等級 含水率 保存 仮容 仮容 仮容 仮容 仮容 仮容 仮容 仮		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	かまら相種(杉、絵) 類板相種() 見込みすま 第二年による ・ シェすま 張りの種別(・1型 ・1型) 上海()(南入等の志側以外) ・鳥の子 (新島の子又はだこ8紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(用地)・生地縁(小りンツ)・変装)		田地幅 (曲面積み) の指示ないものは標性5.14.5(2)(9)(a)(2)による 短用金属枠及び補強材の材質・形状 = 図示 力者 材質 = ステンレス類 (SMS304) 寸法 = 485.5mm				- 「合版の日本農林規格」による化粧はり構造用合版 施工 厚さ 単版の根種名 接着の 箇所 (mm) 単版の根種名 投資。 防虫処理 債者 - 1版 ・適用する - 特徴 ・適用すない
	見込み寸法 * 図示による ・		形状 * はしご形状模筋及び準筋・ 化粧目地モルタルの色() シーリングの種類 () 金属製化能かバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 * 顕示 ・	5 造作用集成材 [6.5.2]	・「集成村の日本農林規格」による造作用集成村 ・「集成村の日本農林規格」による造作用集成村 施工箇所 品名 樹種名 寸法(mi) 見付け材画 の品質 編者		- 合振の日本農林規格」による天然木化酸合版 施工 化粧板に使用する 厚さ 推審の 助金処理 備考 ・ 1頭 ・ 適用する ・ 2類 ・ 適用しない
(9) ガラス [5.14.2~4] [図5.14.1]	くつずりの材料 * ステンレス側板 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 * 園示による ・ 合わせず 3の材料板が 3xの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせ		形状 * 図示 目地部の様力骨の納まり *ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示		- 7集成村の日本農林規格」による化樹ばり連作用集成材 地工箇所 品名 樹種名 寸法(m) 化耐滞板の厚さ(m)		施工 原之 辞章の 表面性蛇 化粧加工 防虫処理 佛考 (mm) 程度 ・特額 ・特額 ・・適用する・・適用する・・適用しない
	# 53の合計簿さ及び特性による種類 * 下記以外は限示による・ 材料板ガラスの種類、組合せ	21 ガラス用フィルム	種類 記号 その他性能等 内貼り用 外貼り用 小貼り用 小貼り用 小性能による区分・A - 8 - C - D - E ・ 医放射7464 LE 無重率による区分				・バーティクルボード 無天裏面の状態 曲げ強さ による区分 耐水性 による区分 離燃性 (mb) 厚さ (mb) *139イブ *P又はM *15
	強化が 52の形状による種類、材料板が 52の種類による名称及び特性に よる種類 * 下記以外は固示による 材料板が 52の種類による名称 材料板ガラス (荷井板が 52の種類による各類		- 無整破壊対応が5次 - 振整破壊対応が5次 - 無限防止2/4A - 相関変位破壊対応が5次 - 機能防止2/4A - 57 3 7 3 2 1 2 2 3 5 2 3 2 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		- 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 根種名 寸法(sm) 現付け材面		・ JLS 03001基づく構造用パネル 施工医所 等級 寸法(m) ・ 1級 ・2級 ・3級 ・4級 ・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) 拡工 厚さ 表表面の状態 曲件指さ 接着所 難然性 ***********************************
	- フロート強化ガラス - 75-4極が 52 - 1類 - Ⅲ類	23 付属電気設備	A · B A		- 「集成村の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法(mm) 化植薄板の厚さ(mm) 化粧薄板: ら村: 見付け村面の品質 含水率 備考	8 接合具等	銀円 (mm) による区分 による区分 による区分 による区分 様考 連作材の化製面の釘打ち
	材料版5 3/12 と種類 性能による種類 色調		電数投機の施工範囲は下記による。 一次側電車供給 * 別途工事 · 本工事 二次側電配投稿具取付 * 本工事 · 別途工事 0.4MB以上の三相電動機には、機器付属の操作整内に電動機保護用 運断器及び連相用コンデンサを設置する。	6 造作用単板積層材		[6. 5. 3]	- 随し5打ち - 打球埋め木 - つぶし取到打ち - 打球球し 接合物
	下記以外は顕示による 断数性による区分 ・	(6) 1 他の部位との取り合い等 合い等 内装改修	既存限性切壁の搬去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修 範囲 ・ 壁原程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 販売による 天井内の既存壁の搬去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ・ 繁重より無限600m程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う	[6. 5. 2]	施工 樹所 ・ 名り ・ 天然木化粧加工 ・ 通用しない ・ 金装加工 ・ 無し (海級:)		* かすがい、原金、報金物、延用金物 (標準体権者 表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF機程度) - (部状: 寸法: 材質:)
	熱極反性 3:00年4年46 3:00種類とび厚さによる種類 * 下記以外は関示による . 日射熱遮寒性 耐久性	工事 ② 既存床の撤去及び 下地補修 [6.2.2]	・ 販売による 販売天井の撤去に伴う取り合い部の漫画の改修 ・ 既存のまま ・ 販売による ビニル床シート等の限去 ・ 仕上材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも ・ 原源の範囲 ・ 搬去額用金て) 会成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目覧し工法 既存の2099-1または4548面の下始発度に用いる67-147-14549をび		- JAS 0701以外の適性用単板機関材 施工 品名 寸法(mn) 開所 - 有り (元表統木化粧加工 - 連用する 1446 (元表統木化粧加工 - 連接加工) - 連用しない 以下 - 単接加工)		
	・ 外部使用ガラスは既存ガラス取外し再使用する		取行のスプデナネたはなか原のト売を増に用いるボディーセットもか及び xi や樹脂もがは、4章外壁改修工事による。		(等級:)		
令和 5 年度	TITL	14.12.22.1				1	設計年月日 設計 担当
津和野	庁舎耐震補強・改修工事 設計図 建						2024 · 01 A — O 5

章	項	目	特言	5 5	事項	章	項	目	特	51	事	項	章	項	目	特	51	事	項	章	項	目	特	51	事	項
	9 防腐・[6.5.5]	防蟻処理	・薬剤の加圧注入による防原適用部材		保存処理性能区分 K2 * K3 ・ K4 K2 * K3 ・ K4 K2 * K3 ・ K4		17 ビニル床: [6.8.2]	タイル	種類の記号 * KT - TT - FT - FOA - FOB	・無地 ・ 300×300 ・柄物 ・ 450×450	帯電防止防滑性	厚さ(nn) 備考 * 2.0 - 2.5 - 3.0		24 フローリング 張り [6.11.2~6]	J		工法 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り) ・ 接着工法	*なら・ *なら・	厚さ(mm) 間伐材等 の適用 15 ・12・ ・8・				まディアムデ 'ンシティ ファイバ'ーボ'ート' 単板張り	MDF	・3 ・7 ・9 ・1 ・無研磨板VN ・10 ・12 ・15 ・単板オーバーレイ DV ・プ・ラスチックオーバーレイ	・研磨板VS ・18 ・
			・) 薬剤の塗布等による防腐・ 適用部材	処理の方法 * 薬剤の製造所 の仕様による	* JIS K 1571に適合 又は同等品]	(18) 接着剤		体 ^ξ	配防止性能評価値(JIS A 責電気抵抗値(JIS A 1454	4)1×10^7~1×10^	10Ω程度				・ 7ローリング 7 ロック1等 複合フローリン	・接着工法	* なら・	15 .				· n-ドボ-ド(素地) · n-ドボ-ド(化粧)	НВ	- 塗装 DC -10(難燃) -12(資 ・無研磨板(・スタンダ- ・研磨板(・スタンダ- ・内装用DI ・外装	離燃)・ '-ド・テンパ-ドRN) ド・テンパ-ドRS) 非用DE
			適用部位(・ 合板等の加圧注入処理等の 適用部位() 適用)			[6.5.3, 4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4, 5]		とする。	がもソント系下地及び木質系						種類 ・ 天然木 化粧複合 カローリング	工法 ・ 釘留め工法(根太張り) ・ 釘留め工法(直張り)	Bi	が適用 ・15・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				 インシュレーションボート・ 天井のボート・類(ロッケケール吸 * 図示による 合板の張付け - A種 	音板を除く)		内装仕上げ・) ・18 ・
	床組み [6.5.6]	間仕切り軸及び	・ 間仕切輪組に用いる木材の * 杉又は松・ 床組みに用いる木材の樹粗* 杉又は松				①9 ビニル幅 [6.8.2]		材質の種類 a 高さ (mm) a 厚さ (mm) a	* 軟質 · 硬質 · 60 ① 75 · 10	00					接着工法の場合 現場塗装仕上	接着工法合の裏面緩衝材 * 合成 f ・ 行う	- Bi	・12・・・ ・12・ ・12・ ・12・		②7 壁紙張り [6.14.2、3]	ı 1		壁紙の種類		
	(1) 窓、上 [6.5.7]	出入口その他 振り	窓、出入口その他に用いる* 吊元枠、水掛りの下枠・縁甲板及び上がりこまちに	及び敷居はひのき、	その他は杉又は松		20 ゴム床タ [6.8.2]	1イル	種類 ・ 色柄 (単層品 ・ 複層品	6.0 • 9.0						* ウレタン樹脂ワニスス ・ オイルステインの上、 ・ 生地のままワゥ ・ 行わない	. ワックス塗り					施工箇所 紙 繊維 図 示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・・・・ 不燃・・・ 不燃・・ 不燃・・	防火性能 備考 - 準不燃 - 難燃 - 準不燃 - 難燃
	[6.5.8] (13) 壁及で [6.5.9]		* ひのき - 壁網線、野線受検、野線及用いる場合) * 杉又は松	をび吊木に用いる木	材の樹種名 (製材を		②1) カーペッ [6.9.2、3] [表6.9.1]		寸法 (mm) (・ 機じゅうたん		帯電性・適用する	備考		(25) 畳敷き [6.12.2]		○ D種 (・ K 7 下地の種類	・ B種 ・ C種 「- I ・ KT-II ・ ・ 標準仕様書表12.6.1に ・ ポリステレンフォーム床下地(ノン	よる床組	T-N)		28 モルタル	.涂 U	せっこう* - ト 面及びその * B種 ・	D他**** 面		1
	14 軽量鉄 [6.6.2~	·骨天井下地 4]	野縁等の種類 屋外 (* 25形 ・屋外の軒天井、ピロティヲ	F 井等					・ 9' プルフェースカー^ ・ アキスミンターカー^゚ッ 色柄 ・ 模様のない! パイル糸の繊維種	・ ルーフバイル ・ カット、ルーフ 併用 無地 重等	・ 適用しない			(30) H - = 3-H	1:20	豊表及び豊床に 発散が極めて5 衝撃緩和型豊	はホルイアルデヒド、アセトアルデヒト bない材料を使用したもの (畳表:・Cl ・C2)	′ 及びスチレンを発散	しないか、		[6.15.3, 5,	6]	 ・既調合 ・ 設ける ・ 設ける ・ 設ける ・ 設ける ・ 設ける 	材料(材料 5 施工箇所 形状(* ぶい 5	図示による・)
			野線受け、つりポルト及 ・ 図示による 周辺部の端からの間隔 野線の間隔 ・ 図示に 既存の埋込みインサート あと施工アンカーの施工後の ・ 行う(試験箇所数 4	・ 図示による こよる ・ 使用する 確認試験	使用しない				織じゅうたん0	工法 ・ つづり縫い	工法全面接着工法	・ G種) 帯電性 備考 ・ 適用する ・ 適用しない		(26) せっこうボ 他ボード及び [6.13.2、3]	一トその	合板の##### *標準仕様1 種類 ・硬質木毛セメン ・普通木毛セメン	#19.7.2(2)(f)の(a)~(c JISの 記号 ト板 HW・ ト板 MW・		25 •				(種類 ・ 設けな 外装94M張り下地等の下均	頁 * 押し ない btl/タル塗及び ける ・ ii	適用しない)) 着力試験
			(確認強度 * ・ 行わない * ・ つりボルトの間隔が900m # ・ 神強方法 * 図示によ	mを超える場合	6.4(1)(9)による)				・カット、ルーフ・併用 ・カット、ルーフ・併用 ・カット・カーハ・ット ・バールの形状 ・カットハ・イル			総厚さ(mm) 備考 * 6.5				 硬質木片をメン 普通木片をメン ナい酸カルシウム ロックウール化粧頃 ロックウール吸音を 	ト板 HF ・ ト板 NF ・ 板 0.8FK タ 1.0FK・ 及音板 DR ・	30 ・ イプ2(無石綿)・6 フラットタイプ(・9(不)	・8 ・8 ・		29 タイル張り [6.16.2~4]	1	伸縮調整目地の位置 床床・サギンドをもなるよう	・図 タイル以外 (ラシックタイル) 礁 เ	1示による ・ (*図示による ・)
			天井のふところが3.0mを 補強方法 * 図示によ 天井の下地材における耐虐 補強箇所 * 高さが6	る ・ 変性を考慮した補強					・ルーフハ イル ・カット、ルーフ 併用	第二種 第一種 第二種 第二種 第二種 第二種 第二種 第二種 第二種	* 500×500 * 500×500	* 6.5 * 6.5				・ゲラスケール吸音 ・せっこうボー ・不燃積層せ・ ・シージングせつ ・強化せっこう	ド GB-R * っこうボード GB-NC S こうボード GB-S 1		15 (不燃) :なし(下地は利用) :有(トラパーチン模様) ・準不燃)				施工 形状 再生材料 箇所 /寸法 の適用	吸水率 う I II II 施付	わぐすり 役物 標準 ・・・・	計 → 計 → 計 → 計 → 計 → 計 → 計 → 計 →
			補強方法 * 「特定天 方法を定め	井及び特定天井の様 うる件」(平成25年 第2項第二号に適合	精造耐力上安全な構造 国土交通省告示第771				見切り、押え金料	階段部分 * 模様流 物の材質、種類及び形状 毛フェルト(JIS L 3204)の第	・ 市松敷き* 図示による					・せっこう5スホ ・比粧せっこ: (トラパーチン模ホ ・普通合板	「	9.5 9.5 (準不燃) 表板の樹種名 生地、透明塗料:	変り				耐滑り性: JIS A 1509-1 方法)で規定するC.S.R値 標準的な曲がりの役物は 試験張り ・ 行う *	は0.4~1.0と 一体成形とす 行わない	とする。	・ ・ ・ 計滑り性試験
	15 軽量á [6.7.3、 [表6.7.1		スタッド、ランナの種類 * 改修標準仕様書表6.7.1 応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5.0mを超2				22 合成樹脂 [6.10.2、3]		種別 - 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂		工法	仕上げの種類 *平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ					1	(* ラワン程度 不透明塗料塗り (* しな程度 版面の品質(厚さ(mm)(接着の程度(・1類	.)				見本焼き ・ 行う * 壁タイル張りの工法 内装9/4 ・ 密着張 内装9/4-以外のユニットライル	υ · ax		·張り
	(16) E = 1 [6.8.2,		出入口及びこれに準ずる開口 * 改修標準仕様書6.7.4.(種類の記号 色柄 * FS ・ 無地	5)による・	厚さ (mm) 備考 * 2.5				· 厚膜型塗床材 I* 抄樹脂系發 · 薄膜型塗床材	b床 · 厚 · 樹 · 樹 · 樹 · 樹 ·	葵流しのベエ法 葵流しのベエ法 脂モルタルエ法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ * 平滑仕上げ				 天然木化粧 特殊加工化業 	合板 # 』 『	防虫処理(・行う 樹種名(接着の程度(・1類 厚さ(mm)(防虫処理(・行う 比粧加工の方法) • 2類))				既調合もルクル もルタル下地としたタイルエル 細骨材、混和剤等を予 とする。 有機系接着剤によるタイル(め工場におし	いて所定の割合に配合	
			・ マープ 集柄 ・ 柄物 *接合部の処理 (工法 * * * ・ 突付け (施工箇所:特殊機能 帯電防止・帯電防止性能評	 耐動荷重性 防滑性 お溶接工法))		23 防じん用	引 塗床	工法 製造所の打 なお、上3 仕上げの種類(係樹脂塗材とし、製造所の 指定する工法とする きりは2回塗りとし、総3 * 平滑仕上げ ・ 防滑 * 標準色 ・	塗布量は0.25kg/m2 h仕上げ)					・メラミン樹脂化電・ボッエステル樹脂	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·) ・行わない)				9(Mの形状、寸法など 施工 形状 再生材料 箇所 /寸法 の適用	吸水率 う		耐凍 耐滑 横等性 り性 帰考
																 ミディアムデンシテファイバーボート* 単板張りバーティクルボート 	1 MDF -	3 -7 -9 · 無研磨板W ·10 ·12 ·15	・研磨板VS				標準的な曲がりの役物は	- 体成形と3		<u> </u>
令	和5年		A 71 7 15 - 5			_	改修後】	SCAL															設計年月日	設	計担当	
	沣	非和野庁	舎耐震補強・こ	攻修工事	設計図 _ 建 3	ŧΙ	事仕様書	- 6 -	_														2024 • 01			A — 0 6

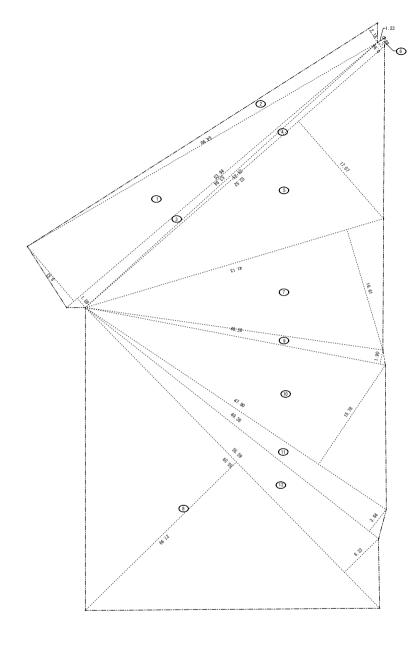
項 目	特 記 事	項	章 項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
30 ゼルフレヘ・リング 材塗り [6.17.2、3]	塗厚(mm) *10mm程度 ・			・高日射反射率塗料塗り 下地調整(改修標準生核書表7.2.2) ・RA種 *RB種 ・RC種			・超音波測定試験 試験対象 ・接取り	7 暑中コンクリート [8.10.2]	構造体強度補正値 *6N/mm2 ・図示による
1)材料 [7.1.3] ② 下地調整、 素地ごしらえ [7.2.1~7.3.7]	防火材料 ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とす。 次の箇所を除き防火材料とする(・ 塗替え種別が98種の場合の既存途順の除去範囲 ・ 劣化部分は除去し、活開節分は潰す 下地調整、素地ごしらえ 下地面の種別 ・ 下地調整の種別 ・ 木部 ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *) 新規 <u></u> いび割れ部 ごしらえの種別 の補修		正程 変称名の他 変付け変 規称名称 接頭 等級 (v _L /α2) 世科主9 度視用高口射 2種 1級・2級 全執製造所 反射率定幹 (土壌・2級 全執製造所 が77751を9人種の工程2の着色 ・適用する(衛角末: 冷剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ・適用目しない ・適用する(衛色剤: 油性原料着色剤 ・溶剤系颜料着色剤) ・適用目ない ・適用しない ・適用する(衛色剤: 油性原料着色剤 ・溶剤系颜料着色剤) ・適用しない			ロット ・ 1組の作業組が1日に行った継手箇所で、最大 200箇所程度とする。 試験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・ 金敦 試験項目 ・ 挿入長き 試験方法 ・ JIS Z 2064(鉄路2が1-用機械式機手の鉄筋挿入 長さの起音波測定方法及び特定基準)による 不合格となった場合の措置	8 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	適用箇所 * 提示による セメントの種類 ・ 音速
3 錆止め塗料塗り [7.4.2、3]	鉄田原 (DP)	- B種 - 行う - 行う - FB種	 会 (ā. 2. 1) (b. 2. 1) (c. 2. 1) (c. 2. 2) (c. 2. 2) 	鉄筋の種類等		7 溶接継手 [8.4.3]	適用箇所 * 図示による 1/2 題音第14G3号に適合する性能 * A級 ・ () 消接機手の工法 ・ 図示による() ・ 飲飯相互のあき ・ 機率性格書5.3.5(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による() () 超工完了他の消接機の試験 ・ 外観試験 試験対象 ・ 全数	・無筋コンクリート [8.11.1]	・混ね材 混ねがの種類 ・提本性様素 13.2(2)(f)による ・図示による スランプ * 15cm () cm ()
	鉄鋼面 SOP 新規度及掛り 新規度及掛り 新規度及膨れ 塗装及 EP-G 新規度及膨れ 塗装及 野規度及膨れ 連載及 野規度及膨れ 小経 * B 日 新規度 の の つき 新規度 の 野規 の 野祖 野祖 野祖 野祖 野祖 野祖 野祖	- A種	③ 鉄筋の継手及び定業 [8.3.4][8.4.2,3]	鉄筋の継手の方法等 銀手方法 呼び名 株、梁の主筋 ・ ガス圧接 模様式細手 別力壁の鉄筋 北部手 で他の鉄筋 正ね網手 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			で、最大200箇所種度とする。 技験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・食数 1ロットに対して()箇所 ・食数 1は映項目 ・内部欠陥の検出 は映页は * 315 2 3663 (鉄筒コンクリート用展形棒類溶接部の 超音楽測定方法及び4形定基準)による 不合格となった場合の措置	10 流動化コンクリート (6.15.1) 11 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発目地、 打縄目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) [3.7.3]	適用箇所 * 図示による () ・ ()
4 仕上げ塗料塗り	新規制金組具等 新規その他 塗替え	- A程 - - B種 - - C種 -		郷子田屋 ・俊宗による 柱及以梁の主路の重ね継手の長さ ・俊宗による 耐力整の重ね継手の長さ ・全修構帯化株養 8.3 4(3) (7)による		8 割裂補強筋 [8.21.6][8.22.7]	仕様 移状 ・スパイラル物 ・() 種類の記号 ・5225または20MPP ・() 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・図示による	(2) 構造体コンクリート の仕上り [8.1.4]	会振せき板を用いるングトの打放し仕上げ * 図示による ングトの仕上がりの平たんさ * 図示による
(4) 仕上げ塗料塗り [7.5.2~7.12.2]	(SDP) 本部屋内 塗料の種類 鉄鋼面 ・ ・1種 亜鉛かっき網面 ・2種 (頻製建具以外) 亜鉛かっき網面 ・ 9/9757か-塗り (CL) 木部 ・ ・ 7/979時間系事水分散系	工程		・改修標準化核着 表8.3.2 対応の定義を2 - ②依修標準化核着 8.3.4(5),(6)による - 図示による ・関示による 機械工定道上鉄 ・選用する - 週間前 - 図示による()・ 通用値所 - 図示による()・ 建類 - 探信圧接接合 - 総合グラウト固定 ・ 統合グラウト固定) コンクリ	(1) コンクリートの種類 (8.1.3) (2) コンクリートの 気乾単位容積質量に よる種類及び強度等 [8.1.3,4][8.2.5]	■ I 類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ■ 田類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) *審遇コンクリート 設計条等政策	13 打増し厚さ (打放し仕上げ部) [8.7.8]	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・() nm ・ 1 対放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・() nm ・ 外装タイル後別・面の打増し処理 ・20mm ・ 床型特別展別・対プトル接側面部の打増し処理 フトルが実持される要の側面について下記の打増しを行う ・10mm ・20mm ・() nm
	上塗り等級 押出成形がか 板面 - 2級 - 3級 - つや有合成機能174/27 - 27/17/18 - 19/17/18 - 19/17/19/18 - 19/17/19/18 - 19/17/19/18 - 19/17/19/18 - 19/17/19/18	- A-1種	(4) 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網を含む) [8.3.5]	最小かぶり厚さ ・改修標準化特象 表8.3.6による ・軽量コンクリートを適用する場合 適用服所() ・			構造体強度補正値 * 改修標準仕様書表8.2 4による ・ 図示による - 軽量コンクリート 設計基準限 スランブ 気乾単位容積 機類 適用箇所 (M/ma2) (g) 11種 ・ 24 ・ 21 ・ 12種 ・ 2種 ・ 2種 ・ 2種 ・ 2種 ・ 2種 ・ 2	(4) 型枠 [8.2.7] (6.8.2)	せき板の材料及び輝き *合板 (弾き *12mm ・()mm) ・かり・型枠(使用部位 *図示による) ・床型枠用鋼製デッオンド・(施工範囲 *図示による) ・断熱材を乗用した型枠材 使用態所 *図示による ・部の工法用分・適用形所 *図示による ・打地(原き・20mm・()mm 打地(複節 ・図示による
	せつこうギード画 原内本部 原内本部 原内本領画 屋内本領画 屋内を紹介っさ画 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	* B種 ・ * A種 ・ * B種 ・	圧接部の試験 [8.3.8] 6 機械式継手 [8.4.2] (5.5.5)	受注者が検査機関と直接締結した契約書を監督職員に提示する 適用施所 *図示による H12建告第1463号に適合する性能 *A級 ・() 種類 ・ねに式鉄店総手 光境方式 ・無機が5か方式		③ セメント [8. 2. 5]	種類 ・普通ぎ ルトランドゼント、高炉センントル種、ソウカセンントル種又はコアイアッシュセンントル種 ・普通ぎ ルトランドゼントの高度は、JIS R S210 FAで表された規定の他、水和 熱が7日目で320/kU下、かつ28日目で402./g以下のものとする ・高炉セメント8種 適用箇所() ・プライアシュセンンルロ種 適用箇所()	(16) コンクリートの	スリープ の材種・規格等 * 図示による ゾブオゲラセい レーナーとして使用 使用箇所 * 図示による コンクリートの打放工法の種類
	(予末存保護塗料塗(WP) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	合のしみ止め		・有機が 3分方式 ・場影ねじ加工継手 ・モルタル党項式継手 ・モルタル党項式継手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(4) 骨 材 [8.2.5]	784号/特仮応性による区分 *A ・B - 混和剤 温和剤の種類	打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5] [8. 23. 6] [8. 23. 7]	捕掘工法 卸卸工法 卸卸工法 卸卸工法 かし 対しみ工法 全ての増設壁 利用ホによる を の増設理 利用による を の増設理 利用による を の増設理 利用による を の増設理 利用による を の増設理 利用による を の増設理 利用による を の増加工 利用による を の の の の の の の の の
	しみ止めシテとする - 合成樹脂 T 19/3 パ () 造りの塗替えの場合のしみ止め - 8 時を又は2時の場合は改修標準仕様書表 7.10.1の - しみ止めシテとする			・外板試験 試験対象 *全数 試験項目 : 評定等の評価内容による・ 試験方法 : 評定等の評価内容による・		8.2.5] 6 構造体用モルタル [8.2.6]	本改修標準化格書 8.2.5(4)(a)による ・ 関示による ・混和材 混和材の種類 ・改修標準化核書 8.2.5(4)(b)による ・ 関示による		金剛巻き及び溶接 明備3-7 巻き工法) ・圧入工法 ・全工の技権強勢分・原示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
和 5 年度 津和野庁領	舎耐震補強・改修工事 詞		【改修後】 sca 工事仕様書 - 7						設計年月日 設計 担当 2024・01 A —

章	項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項 /	章	項 目	特 記 事 項
		類極巻を工法及び帯板巻を付け工法での型枠等 柱線及び柱脚の隙間の可性 ・ 図示による 柱球及び柱脚の隙間が耐の型枠 ・ 発力プステック電温材等を埋込む ・ 図示による ・ 図示による ・ 図示による ・ 図示による	5 溶験亜鉛めっき 高カボルト [8.13.2] [8.20.5]	セットの種類 * 1種 (FBT) 相当 が40分数性販売、が40類解、ゲージ等 * 図示による 等部面の処理方法等 * 7514短程(後面相度のμm2以上)又はりん酸塩処理 ・ 3万1452 ・ 3不り以其能の実施 * すべり保数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 * 図示による		14 溶接部の試験 [8.15.12]	平12度合第1464号第二号に関する外板試験方法等 ・「完合性器手の食い違い位口のすれの検査・補強で275/3.5.2受入 検査による ・技き取り検査① * 抜き取り検査② 完全活込み溶接部の起音波探傷試験 ・工場溶接の場合 *全数 ・工場現場溶接の場合 *全数	8-6 耐震スリット新設工事	方式、幅及び深さ [8.25.2] 2 耐震スリットの 施工前の埋め込み 配管等の探査 [8.12.4]	方式 ・完全 ・部分 概定が深さ ・部分による 設置箇所 ・国所による 既存施去都の理込み配管等の探査方法 ・総括授業権 金属授知側上により提査し、鉄筋、配管額の位置に 単出しを行う ・はつりだとによる
	(17) あと施エアンカー [8.2.4]	封料等 → 教養系アンカー(ARケミカルセッターHPアンカー同等品) ↑ からからを開発 ・ まか もか 方式回転・打架式 ・ () 接着剤の品質 ・ 分機様・ ・ 機楽系		すべり試験を実施する場合、必要標準は極齢、14.2(1)(f)による魔療面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。		[8. 17. 2] [8. 17. 4] [8. 18. 2~8]	塗料の範囲 ・耐火装電材の接着する面の塗装 範囲 * 固示による ・耐火装電材の接着する面は外の塗装 範囲 * 標準化体線第.17.2 (*)~(*) ・ 関示による		3 耐震スリット充填 材の挿入及び間面 補修等 [8.25.2]	- 耐火村 使用語所及び仕様 * 図示による ・遺音材 使用語及び仕様 * 図示による 搬去部の補修 * 搬去材と同一材で補修 ・ 図示による
		7か振の程及が埋込が長さ ・ 個示による 7か振の新設理内への定着の長さ ・ 個示による ・ 性能確認試験	6 普通ポルト (7.2.3) [8.13.2] (7.3.8)	ボルト及びナットの材料 ・編集化性器 第7.2 3(JIS開業書品)又は次による ぎがの規格は、JIS B 1180とする、ぎがの理解を呼びを欠余すか または金ねじた角がかとし、材料は無とする。ぎがの理解区分は、 4.8 2は4.8 とする。なお、呼びを欠余をがの機能の最大が出は、 ぎがの窓の値以下とする。7+かの規格は、JIS B 1181 分する。 かかの整備に、元券計・から、大場から、大場がは減してる。			塗料経別 下記以外の鉄製面は、7度 (塗装改修工事) による ・ 鉄青鉄筋シパー・造の開設パープで鉄青に溶接されたものの内側の鎖 止め塗料の種別 ・ A機 ・ B種 - 耐く装蔵材が接着する面の塗料の種別 ・ (● 土工事及び地業工事	1 既存杭の撤去等 (8. 28. 2) (2) 埋戻し及び塗土	照本科の一部を搬走する場合の搬走着開及び方法 ・ 図示による 既存私の試験報理 ・ 図示による 既存私の対象値 ・ 図示による ・ 既存札の機全性を確認する試験 ・ 図示による 埋戻し ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 (表8.28.1)
		接合筋の種類、径、長さ * 図示による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 * 図示による		産金 * JIS 8 1256による ・構造図による * 計50の酸強距離、 * 計1関係、 * * ・ * * * * * * * * * * * * * * * *		16 耐火被覆	種類 材料、工法等 性能(耐火時間) 適用箇所 前以4枚付け ・乾式吹付けのか・4	業工事	[8.28.3]	・ (材料: 工法:) 盛 土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (表8.28.1)
	(B) 穿孔 [B. 12. 4]	埋込み配管等の原査方法 ・鉄筋球知器 (金属採知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に 墨出しを行う ・はつり出しによる ・()		母型文は銅縁の取付けに使用するポルトの孔径 * おじの呼び径+1.0mm ・ 昭示による			- 年乾式吹付け2ッケータ - 選式のウケータ - 耐火振張り - 繊維混入パ酸油シウム版		3 山留めの撤去 [8.28.3]	・ (材料: 工法:) 調矢板等の独き跡の処理 ・直ちに砂で光頃する ・顕示による 山壌の存置
	(9) 施工確認試験 (8.12.7)	試験方法 * 引張誌韓他による引張試験 確認想度 * 顕示による	7 アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)	- 構造用アンカーボルト セットの種類(JIS B1220) - ABR400 - ABR490 - () - 進方用アンカーボルト 種類 - S&400 - ()			- 耐火材器付け - 高新燃のウラ- b - 53種 914574		4 杭地業 [8. 2. 14] [8. 28. 4] (4. 3. 7)	・行う 存置範囲 * 現場談明書の施工条件明示による 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置金む) * 図示による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 * 図示による ・ 試験核の位置、本数及び寸法並びに施工方法 * 図示による
	20 施工管理技術者 [8.12.1]	(社)日本建築あと施工アルー協会が定める「あと施工アルー技術管理士」の 資格以上の能力を有する者とする。		7カー はみなびかわのもこの必要が53及び仕上げの程度 ・標準化性等差 表 72、3による ・標準化性等7.2 4以外のアンナーボルト 油用部所・販売による()) ・ 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		17 アンカーボ 小等の設置等(7.10.3)	専構造用アルナ あ1の形状及び寸法 ● 図示による 構造用アルナルの形状及び寸法 ● 図示による 超元用アルナルの形状及 灯 → 図示による 超元用アルナ はの保持及 ブロュルス 超元 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 → 1 →			- 杭の暦年の箇所徴、材料、工法等 * 関示による ・杭の溶接種手 技能資格制度量 * 関示による 溶接部の確認 * 関示による ・成既を処理する 処理方法(切開にともなう構造方法含む) * 関示による ・ 抗戮の中籍の材料 ・ 基礎のコンプリートと同類合のもの ・ 関示による
8-3 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 [8.1.5]	飲骨製作工場の加工能力 ・ 建築基準法期が急免のだに基づき国土交通大臣から構造力法等の認定 を取得して心裁者兼件工場又は同等以上の能力のある工場 () プレード以上 ・監管機長の発酵する工場		がおの維強距離、がお野陽、ゲージ等 ・関示による		18 鉄骨ブレ-X設置後 の仕上げ	厚さ - () 5時 接別 = A接 - 5時 * 図示による			核の構度 水平方法の位置すれ ・核径の1/4かつ100mm以下 ・顕示による 核の鉛質度 ・1/10以内・顕示による 起鍵する施工状況等 ・図示による
7	2 鉄骨製作工場に おける施工管理	・ 血目の取りがある。 ジェー	8 溶接材料 [8.2.10]	溶接材料 ・改修爆滞仕様書 8.2.10(1)(2)による ・図字による		[8. 22. 9]			5 砂利地業 [8.2.15][8.28.4] 6 捨コンクリート地業	材料 - 再生分ランヤラン - 切込砂利又は切込砂石 砂利厚さ * 60mm - ()mm 拾コンクリートの厚さ * 50mm - ()mm
	技術者 [8.1.6] 3 鋼材	機類等	9 スタッド [8. 2. 11]	種類等 呼び者 呼び長さ(mm) 適用箇所 - 16 - 19 - 22	11	1 柱底均しモルタル 及びグラウト材	・柱窓内しモルタル *無収縮モルタル		[8. 11. 1] [8. 28. 4]	コンクリートの種類 * 普通コンクリート ・ () 設計基準強度 * 18II/m2 ・ ()N/m2 スランブ * ISom又は18om ・ () cm
	[8. 2. 8]	種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規 格 # JIS規格による - # JIS規格による - # JIS規格による - # JIS規格による - # JIS規格による - # JIS規格による - # JIS規格による -	11 溶接作業を行う	ISB 198 (頭付きスタッド)	グラウトエ事	[8. 2. 12]			7 床下防湿層 8 その他の地業	施工範囲は調示による。 ・地盤改良
	4 高カボルト	*JIS瀕熱による ・ 高カボルトの種類	技能資格者の 技量付加試験 [8.15.3]		_	1 連続繊維シート [8. 2. 13] [8. 24. 6]	連続機能の材料 ・炭素機能 ・アラミド機能 ・() 引強限度(含浸硬化後) ・()			工 法
	[8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 14. 2]	* おがお高力がお・種(SIOT) ・JIS形高力がル・2種で10T) ・JIS形高力がル・2種で10T) ・ボトの経域圧縮、ボト特関係、ゲーゲ等 ・関系がよる 磁振の処理力法 ・自然発情(集皮等を除去した後に自然放置して表面に非さびが	12 溶接接合 [8.15.4][8.15.7]	関先の形状 ・図房による ・開製D・17 の切断する部分 切断する範囲 ・ 図示による ・切断する範囲 ・ 図示による ・ 図表による ・ 例製D・17 77、 裏当て金等は、梁7597 の域から ・ の以下を残して直縁状に切断する。なお、切断 ・ 場が必要する場合は、交通形を7-5状に加工する ・ 図帯による ・ 図帯による ・ 図示による ・ 図示による	減維補強工事		下地処理 ・ひび郭れ郎改修			配合設計段階 検体 施工後段階 検体・タンクリーチング試験
		発生した状態) ・アンNの標(無面視別の3m8に以上) ・すべり試験の実施 ・すべり試験の実施 ・すべり無数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 * 図示による すべり試験を実践する場合、改修標準仕様書を 14.2(1)(のによる を推画の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	13 入外、バス間温度の 溶接条件	スカラップの形状 ・関系による 顔材と溶接材料の総合せと溶接条件 ・関系による 適用世形 ・柱、梁、アレスのアジン 端部の完全溶け込み溶接部 ・関系による		2/t±if j8.24.7]	試験教量 * 図示による・・付着強度数 ・ JIS A 6909(建築用仕上塗材)による ・ 構造図による 試験教量 * 図示による 補強工事後の仕上げ * 図示による			
	/		/							
令	和5年度 津和野原		【改修後】 sca 工事仕様書-8		V					放計年月日 放 計 担 当 2024 · 01 A — O 8

章 項 目		į i	重 項 目	特 記 事		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
④ ① 石締合有建材の除去工事 [9.1.1,3~5] 虚改修工事	アスペスト形しん温度測定 測定場所 測定点係 測定角形とが測定点 測定場所 測定温度 測定場所 測定点を 測定点 処理作業 処理作業室内 計 点 測定点 処理作業中 処理作業室内 計 点 測定点 処理作業中 処理作業中 処理作業中 、計 点	施工箇所) 風速1m/s 計 点		助と	ii施設) び処分 ・ ・ 、 (3) 及び(ウ) による	(20.2.2)	構法 - 直数式 - 支柱調整式 - 支柱調整式 所定商業 - 3,000M - 5,000M - 5,000	事 天井点検口③ 床点検口(10) 手すり	対極
	測定方法 - 自動到定都による測定 - 測定名称 - 測定方法 - 測定名 - 1に基づいた測定 - JIS K 3850-1に基づいた測定 - ガア ジアブン(4) - 漢称の吸引流量 - 説料の吸引流量 - 選集(m) - ((Jmin) - (g)		2 外断熱改修工事 [9.2.1~4]	断熱材 の種類()、断熱材の 断熱材の種類()、断熱材の が装材 種類 防: 既存外壁の規度 既存外壁也上材の搬去 あり ない 下地面の消揚 行う 行う 欠損勢がある場合の改修工法 *(塩外壁改修工 本種等の下接種を)の変修工法 *(塩外壁改修工 不整等の下接触を) 関末に	火性能 備考	② 表示 (20.2.11)	配線取り出し閉口 * 製造所の仕様による * 小 おおばこつき 40mm × 80mm程度の開孔1か所以上 空調用吹出(水込み)パお・な * 有(粉式、 施工箇所: * 図示による *	(I) 天井見切り縁等 12 視覚障害者用床	- 集成材 - 2777か 35 - 45
	- 測定() 47 10 一測定() 47 10 一測定() 47 10 一測定() 47 10 一測定() 10 一測定() 47 10 10 10 10 10 10 10 10	120 240	③ 断熱·防露改修工事 [9.3.2~4]	通気間の有無 あり(m) なし 断熱は、外鉄は砂型に及び外装が砂型への取け ・ 断熱材及び外装材製造所の仕様による ・ 断熱材が込み工法 種類 ・ ドボは1945/07-1 断熱材 ・ 押出法が1945/7-1 断熱材 ・ 22種b × 25 ・ 1種bC ・ 50	厚さ(mm) 施工箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 プラインド (20.2.14)	形式 操作方法 種類 スラッセの材質 スラッセの 4: 721、 42 人 4 人 4 人 4 人 4 人 4 人 4 人 4 人 4 人 4	章	歴内 ・塩化: 13数 ・300 ×300 ・7.0 ・
	除去した石総合者吹付け材等の処分 ・ 中燃料理 (溶釉施設又は無害化処理施設) ・ 中燃料理 (溶釉施設又は無害化処理施設) ・ 石総合者保温材等の除去 除去工法			・フェール	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4 ロールスクリーン (20.2.15) 5 カーテン (20.2.16)	加減分割	1g 窓口用カンター (1g 移動書架 (1g キッチンシステ	# かな
	○ 百結舎有原形模等(百結舎有けい機能)小4板第1種)の除去 除去以整理團 ● 個界による 養生方法 除去した百結舎有けい酸カルシウム板原1種の処分 ① 理立処分(安定型級棒処分場) ・百結合有比上壁材又は石結合有成形板(下地理整材)の除去 下起の外は、必修課者性結響)は「及59」による 除去工法・ ・ 毎純雑音子が規則(平成17年2月24日原生労働省 令第21号)第6年による指数と同等以上の効果を 有する指型とさるる工法 ・ 第10人装置使用手工具ケレン工法 ・ 第10人装置使用手工具ケレン工法 ・ 第10人装置使用手工具ケレン工法 ・ 第10人装置使用手工具ケレシエ法(160m)の以上 ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置使用手工具ケレションは ・ 第20人装置を表示工法(150m)の以上 ・ 数据表が上上後に行るりから日標棒を機関用)		舗装改修工事	・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法 ・	・ 図示による ・) 〕 【しの日から1年	6 カーテンレール (20.2.16) 7 ブラインドボックス 及びカーテンボック?	- 電動 片ひだ - アレンひだ - アレンひだ - アレンひだ - アレンひだ - アレンひだ - アルンスの - アルミルスの - アルミルスの - アルミルスの - アルミルス - アルス - アル	前南	
令和5年度津和野庁	- 銅線掃用用手工具かご注 ・銅線滑用用在水主工法(30-500Pa程度) ・銅線滑伸用超高圧水洗工法(1000Pa以上) ・銅線滑伸用超音波かご注 ・ 集じん装置付きずのが ライゲーかい工法	TITLE 建築工	[9.5.2~5、9] 【改修後】 scal 事仕様書- 9				表面规理 - 80-1 - 80-2(* 標準色()・特注色()) - 鋼製(仕上げ:)		数計年月日 設計 担当 2024・01 A — 0 9







求 積 表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	53. 94	9. 51	512. 9694	256. 48470
2	54. 90	2. 18	119. 6820	59. 84100
3	53. 94	1. 59	85. 7646	42. 88230
4	52. 52	0. 96	50. 4192	25. 20960
5	52. 52	17. 07	896. 5164	448. 25820
6	1. 23	0. 88	1. 0824	0. 54120
7	41. 13	16. 61	683. 1693	341. 58465
8	55. 59	27. 99	1, 555. 9641	777. 98205
9	40. 38	1. 90	76. 7220	38. 36100
10	47. 90	15. 78	755. 8620	377. 93100
11	49. 36	3. 64	179. 6704	89. 83520
12	55. 59	6. 33	351. 8847	175. 94235
		숨 計		2, 634. 85325
		敷地面積		2,634.85 m²

丈量図 1/250

 令和5年度
 TITLE
 SCALE

 文量図
 1/250

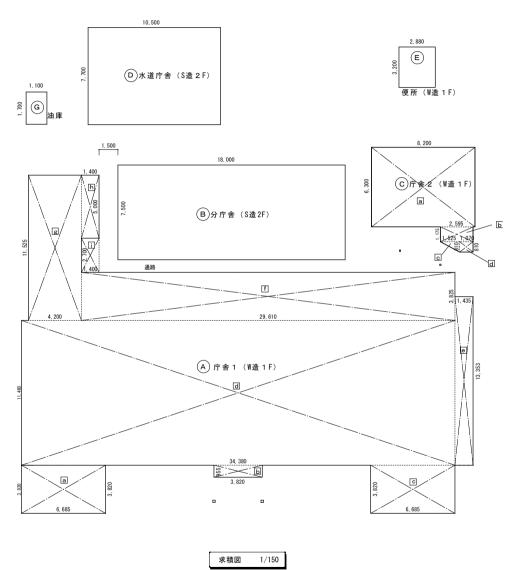
 文量図
 1/250

A — 1 1

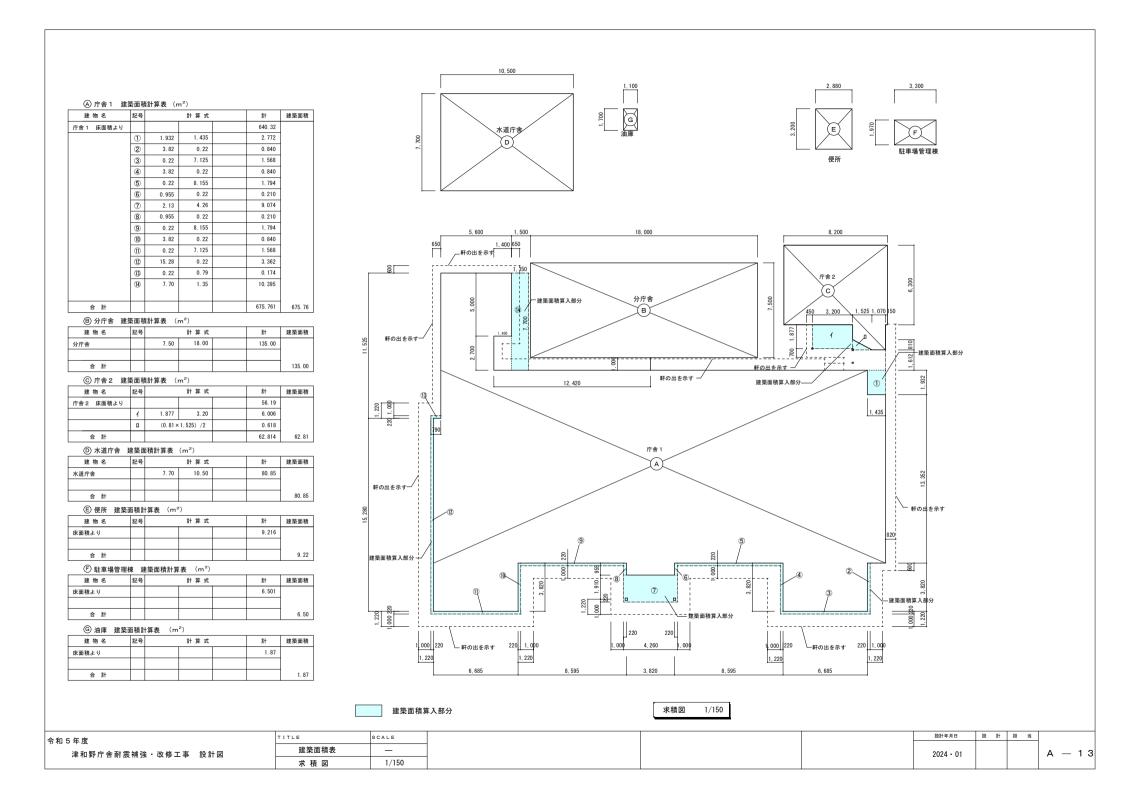
3,300 F 駐車場管理棟

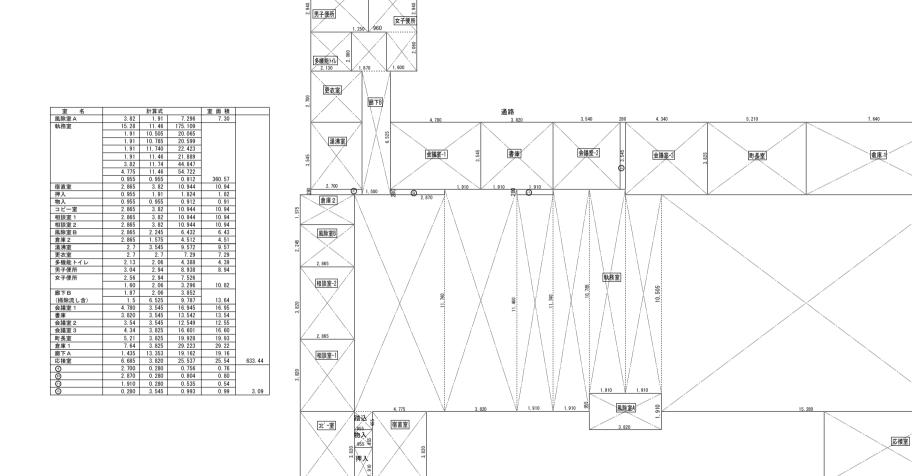
延床面積計算表 (m²)

記号	建物名	構造	階	記号		1階			2階	小計	延床面積
10.7	XE 199 10	造	PH	aL 7	81	算式	āt	1階-計	Z PB	77-81	是外面预
(A)	庁 舎 1	w	1	а	3. 820	6. 685	25. 537	640. 322	\	640.320	640.32
				b	0. 955	3.820	3. 648		\		
				С	3. 820	6. 685	25. 537		\		
				d	11. 460	34. 380	393. 995		\		
				е	13. 353	1. 435	19. 162		\		
				f	3. 825	29. 610	113. 258		\		
				g	11. 525	4. 200	48. 405		\		
				h	5. 000	1.400	7. 000		\		
				i	2. 700	1.400	3. 780		l \		
B	分庁舎	s	2		7. 500	18.000	135. 000	135. 000	135.000	270. 000	270.00
0	庁 舎 2	w	1	а	6.300	8. 200	51. 660	56. 194		56. 194	56. 19
				ь	1. 175	2.595	3. 049				
				С	(0.810×	1.525) /2	0.618				
				d	0.810	1.070	0. 867				
0	水道庁舎	s	2		7. 700	10.500	80. 850	80. 850	80.850	161. 700	161. 70
ⓐ	便 所	w	1		3. 200	2.880	9. 216	9. 216		9. 216	9. 22
€	駐車場管理棟	w	1		3. 300	1.970	6. 501	6. 501		6. 501	6.50
(i)	油庫	w	1		1. 700	1.100	1. 870	1.870		1.870	1.87
				合	計			929. 953	215. 850	1, 145. 803	1, 145. 80



会 和	和 5 年度	TITLE	SCALE
13 114	プログログログ 津和野庁舎耐震補強・改修工事 設計図	床面積表	_
	净和封川 音顺 展開 强 "	求 	1/150





廊下A gg

5 和 5 年度	TITLE	SCALE
	各室面積表	T _
津和野庁舎耐震補強・改修工事 設計図	求 秸 図	1/100

求積図

1/100

外 部	仕 上 表		
屋根	日本瓦(石州瓦)土居葺き 杉皮下地	基礎・巾木	コンクリート下地 細石洗出し仕上 及び モルタル刷毛引き仕上
軒 樋	銅製 ∮120半円、塩ビ∮120半円	建具	木製建具 アルミサッシ
竪樋	銅製 ∮60、塩ビ ∮60		
軒 天	化粧野地板あらわし 杉板張り		
外 壁	土塗り真壁下地漆喰塗り押線杉下見板張り一部杉竪羽目板張り		

室 名		床	撤去	н	巾木	Н	腰壁	撤去	壁	撤去	廻り縁	天 井	撤去	天井高	室名札	撤去
	仕上	杉板張り t28	0		木製巾木	- "	杉板張り t12	0	ビニルクロス貼り	0	木製	ビニルクロス貼り 及び 格天井化粧合板張り	_	2, 690		床下点検口 ステンレス600角
執務室	下地	木製床組	0				木製胴縁	0	石膏ボード t9.5	0		軽鉄下地 ラワン合板 t5.0	0	~		カウンター
	仕上	一部 塩ビシート張り	0					0	一部 漆喰塗り	0		岩綿吸音板 t15貼り	0	3, 650		天井点検口 アルミ450角
	下地	木製床組、コンパネ t12	0					0	土塗壁下地	0		軽鉄下地 石膏ボード t9.5	0			
	仕上	カーペット張り	0	120	木製巾木	1, 000	ビニルクロス貼り	0	布クロス貼り	0	化粧木製	ビニルクロス貼り	0	3, 300		
議場	下地	木製床組、コンパネ t12	0				ラワン合板 t5.0	0	ラワン合板 t5.0	0		ラワン合板 t5.0	0	3, 300 3, 500		
10 Pr E rb	仕上	カーペット張り	0	180	化粧木製巾木	500	ビニルクロス貼り	0	漆喰塗り	0	木製	ビニルクロス貼り		3, 855		
旧町長室	下地	木製床組、コンパネ t12	0				ラワン合板 t5.0	0	土塗壁下地	0		ラワン合板 t5.0	0			
	仕上	タタミ敷	0	60	タタミ寄せ		_	0	ビニルクロス貼り	0	木製	杉柾化粧合板張り	0	2, 670		
宿直室	下地	木製床組、板張り t12	0					0	ラワン合板t5.0	0		木製野縁	0			
4m 3 1	仕上	ラワン合板 t5.0	0	_	雑巾摺り		_	0	ラワン合板 t5.0	0		ラワン合板 t3.0	0			
押入れ	下地		0					0		0			0			
61	仕上	ラワン合板 t5.0	0	_	雑巾摺り		_	0	ラワン合板 t5.0	0		ラワン合板 t3.0	0			
収 納	下地		0					0		0			0			
	仕上	Pタイル張り	0		木製巾木		_	0	化粧合板張り	0	木製	吸音テックス張り	0	2, 510		
コピー室	下地	木製床組、コンパネ t12	0					0	木製胴縁下地	0		木製野縁	0			
	仕上	カーペット張り	0	70	木製巾木		_	0	ビニルクロス貼り	0	木製	ビニルクロス貼り	0	2, 345	0	天井点検口 アルミ450角
教育委員会	下地	木製床組、コンパネ t12	101					0	ラワン合板t5.0	0		石膏ボード t9.0	0	2, 440		
	仕上	カーペット張り	0	70	木製巾木		_	0	ビニルクロス貼り	0	木製	ビニルクロス貼り			0	
参事室	下地	木製床組、コンパネ t12	0					0	ラワン合板t5.0	0		木製野縁	0	2, 350		
	仕上	塩ビシート張り t2.0	0	100	塩ビ巾木		_	0	ビニルクロス貼り	0	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	0	2, 390	0	
会議室	下地	木製床組、コンパネ t12	101					101	石膏ボード t9.0	0		木製野縁	0			
	仕上	アピトンフローリング張り t12	0	100	塩ビ巾木		_	0	ケイカル板EP塗り	0	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	0	2, 390		
倉 庫	下地	木製床組	11-			1		0	石膏ボード t9.0	0		木製野縁	0			
	仕上	カーペット張り、フローリング張り		60	塩ビ巾木		_	10	ビニルクロス貼り	0	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	0	2, 390	0	
相談室	下地	木製床組、コンパネ t12	101					101	石膏ボード t9.0			木製野縁	0			
	仕上	塩ビシート張り t2.0	10	100	塩ビ巾木		_	0	ビニルクロス貼り 及び 100角タイル貼り	0	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	0	2, 390	0	ステンレス流し台・カ゚ス台(L=2700)、吊戸棚、レンジ:
湯沸室	下地							101	石膏ボード t9.0 及び モルタル下地			木製野縁				
	仕上	塩ビシート張り t2.0	10	100	塩ビ巾木		_	101	ビニルクロス貼り	10	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	0	2, 390	0	鏡、ロッカー
更 衣 室	下地							101	石膏ボード t9.0	0		木製野縁				
	仕上	50角モザイクタイル貼り	101	_	_		_	0	半磁器タイル貼り 100×200	10	_	ケイカル板EP塗り	0	2, 400	0	手洗い、小便器、洋便器、和便器
男子便所	下地	モルタル下地	101					101	モルタル下地			木製野縁				
	仕上	50角モザイクタイル貼り	0	_	_		_	0	半磁器タイル貼り 100×200	0	_	ケイカル板EP塗り	0	2, 400	0	鏡、手洗い、洋便器、和便器
女子便所	下地	モルタル下地	Töt:			+		101	モルタル下地				0	····	ļi	·
	仕上	50角モザイクタイル貼り	0	- †	_		_	10	半磁器タイル貼り 100×200	Ť	_	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	10	2, 400	0	手洗い、手すり、洋便器、床排水目皿
多機能トイレ	下地	モルタル下地	Tot			1		101	モルタル下地	0		木製野縁	0			7コーデ・ィオンカーテン H=1800
	仕上	塩ビシート張り t2.0	101	100	塩ビ巾木		_	10	ビニルクロス貼り	10	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	6	2, 390		鏡、洗面台
廊下・洗面	下地					1		tot	石膏ボード t9.0	0		木製野縁				·
	仕上	杉板張り t28	0	120	木製巾木	620	杉板横張りt12	10	漆喰塗り 及び ビニルクロス貼り	10		化粧石膏ボード張りt9 (ジプトーン)	6	2, 050		
渡り廊下	下地		-tōt-			+	木製胴縁	tõt	土塗壁下地 及び ラワン合板 t5.0			木製野縁		2, 670	l	
	仕上	杉板張り t28 及び 人造石研ぎ出し		120	木製巾木			1	ビニルクロス貼り 及び 杉格子25×25 150角	0	木製	杉木目板		2, 690		掲示板
風除室	下地	木製床組 及び モルタル下地	-++-			+		++	石膏ボード t9.0		11-48	木製野緑			····	179-7-105

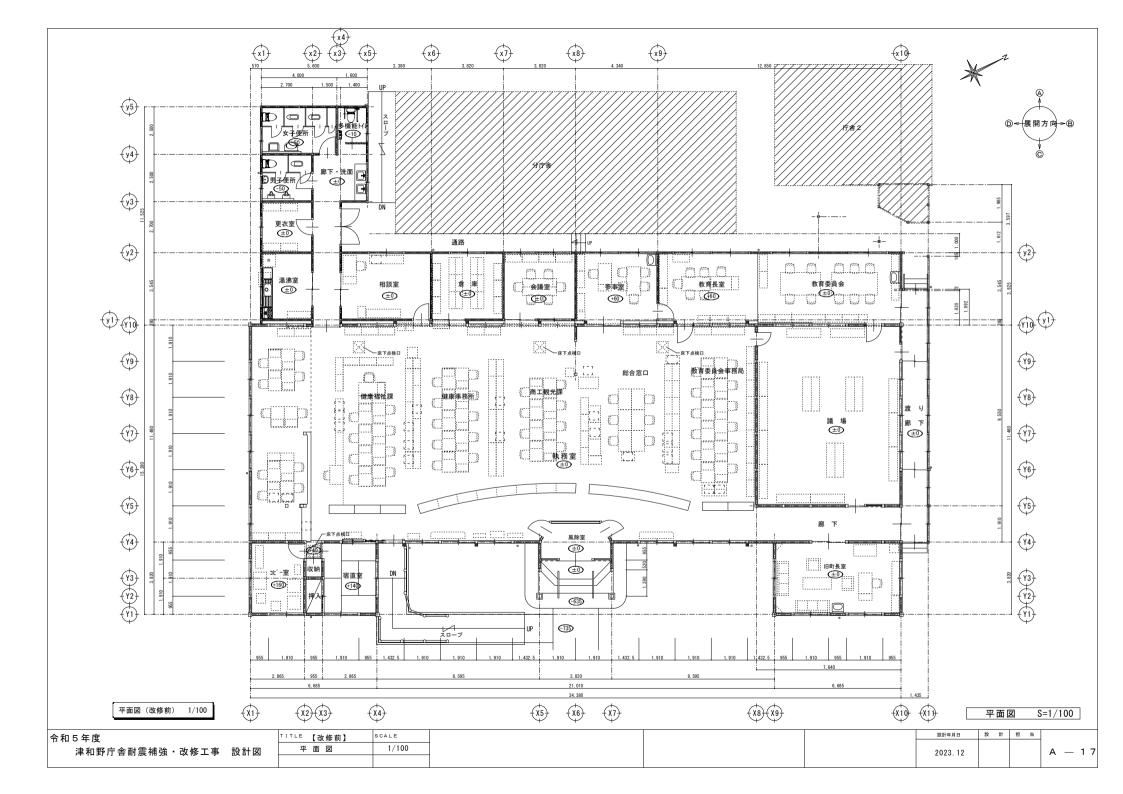
4	↑和5年度	TITLE 【改修	修前】	SCALE
T				
	津和野庁舎耐震補強・改修工事 設計図	仕 上 表		_

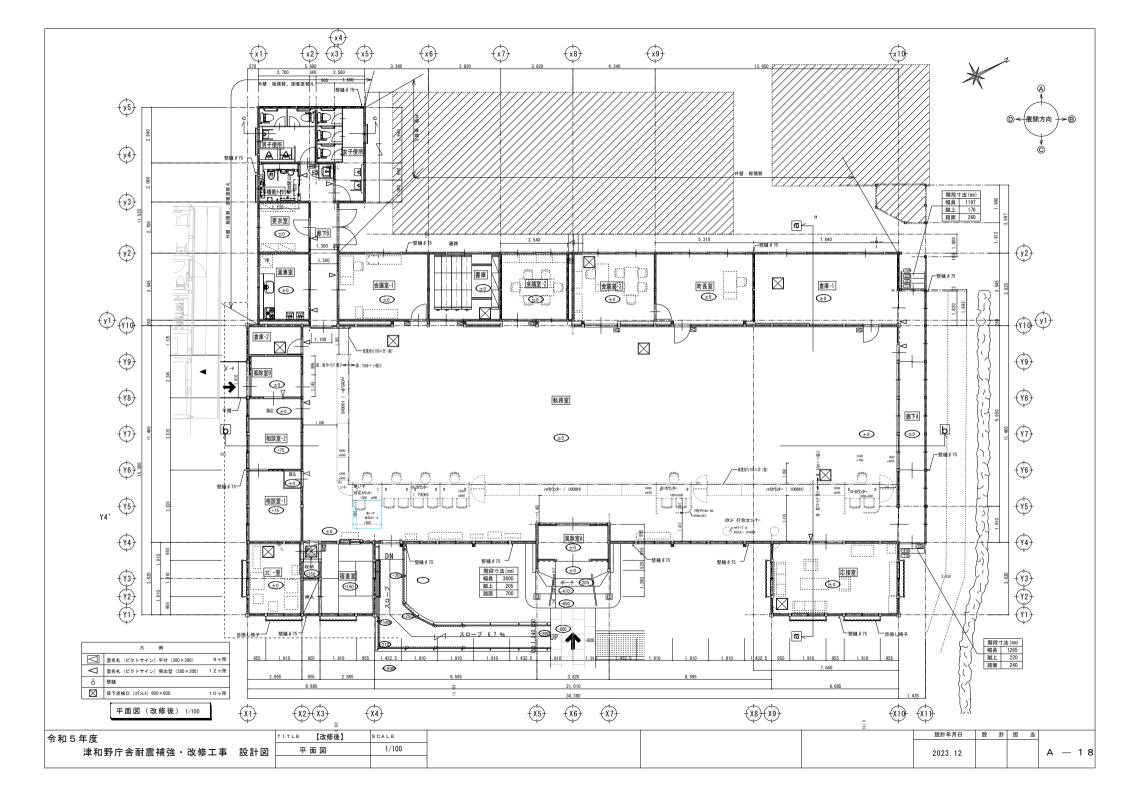
		断熱	外壁面 (全面) : グラスウール t 50 (24K) 天井裏 (全面) : グラスウール t 50 (24K) 二	二重張り				
工事	概要	木部塗装	外部: 木材保護塗料塗 内部: CL塗装					
外音	邹 仕 上	: 表				内装建築材料の防火認定		内装建築材料のシックハウス対策仕様
屋根	既設 石	州瓦再利用筋葺き	:(平葺既存瓦1/2、新設瓦1/2) (陸棟 腰棟 下棟 簑甲部 役物 既存瓦1/2、新設瓦1/2)	LJ 000	杉板t=15 下見板 及び 羽目板張り 木材保護塗料塗り 一部 漆喰塗仕上			1
軒 樋	銅雨樋	Φ120半丸 ((株)	ニニタハウジングウェア SusCu&スーパー銅雨とい 同等品)	가 壁	新設荒壁パネル、既存土塗り壁補修下地 西面外壁EXP・J金物取付け			
竪樋	銅雨樋	Φ75 ((株) タニタハウ:	「ンヴウェア SusCu&スーパー銅雨とい 同等品)	基礎・巾木	既設 モルタル塗 及び 細石洗出し仕上のまま 一部 クラック 及び 剥離部分補修			
軒天	杉板張り	りt15 木材保護塗	料塗り (一部 杉板t=12張り)	14	外部 既設 建具撤去部分 同等材新設 (ガラスは既設再利用)			
				姓 共	内部 木製建具 一部 新設 アルミ建具			

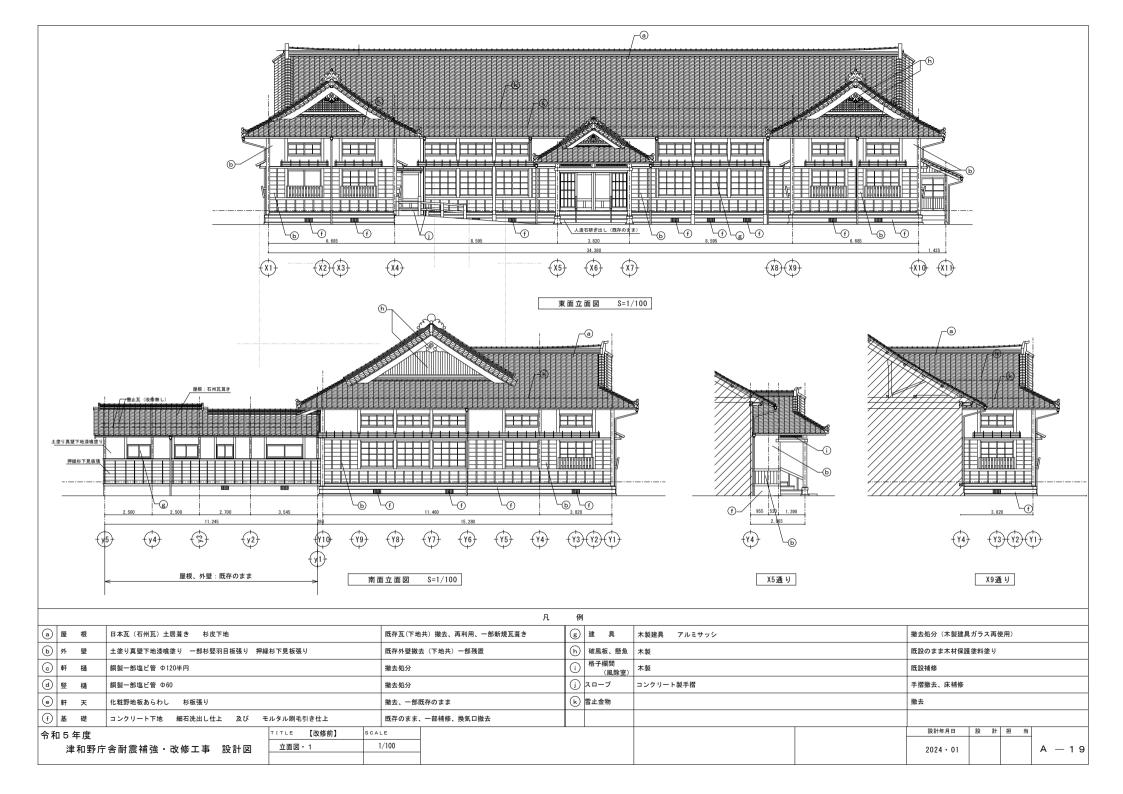
内 部 仕 上 表

改修後	名 改修前	+	床	Н	1 ^{†† *}	Н	腰壁	壁		廻り緑	天 井	天井高	室名札	備考
	執務室	仕上	桧フローリング張りt18、一部タイルカーペット貼り	75	木製巾木(杉)	780	杉板張り t12	ジョリパット(しっくい調)コテ塗一部ビニル	ルクロス貼り	木製(杉)	ロックウール化粧吸音板(リブ付)張り t15 (不燃)			天井点検口(7兆450角) 床下点検口(ステン600角)
執 務 室	議場下	下地	構造用合板t24一部構造用合板 t 24+ラワン合板 t 5.5			1	石膏ボードt12.5		(不燃)	40 × 60	石膏ボード t9.5	S; 6 25	1	窓口用カウンター
		仕上	タイルカーペット貼り	180	木製巾木(杉)	500	杉板張り t12	しっくい塗一部ビニルクロス貼り		木製(杉)	ビニルクロス貼り (不燃)			天井点検口(7兆450角) 床下点検口(ステン600角)
応接室	旧町長室	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5			1	石膏ボードt12.5	石膏ボード t12.5 ((不燃)	40 × 60	石膏ボード t9.5	···S; 8 55···	†…⊙…	
		仕上	タタミ敷		タタミ寄せ(杉)		_	ビニルクロス貼り ((不燃)	木製(杉)	ビニルクロス貼り (不燃)			天井点検口(71/5450角)
宿 直 室	宿直室	下地	下地板張り(杉) t 15			1		石膏ボード t12.5			石膏ボード t9.5	2; 500	 ⊙	
		仕上	シナベニヤ t=5.5		雑巾摺り		_		(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)			
押 入	押入れ	下地	下地板張り(杉) t 15			····							†	
		仕上	シナベニヤ t=5.5	_	雑巾摺り		_	吸放湿石膏ボード t12.5 ((不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)			
収 納	収 納	下地	下地板張り(杉) t 15		46.17.18.7	····		WW/E H H 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	\ 1.8m/		10-ш п н н н н н н н н н н н н н н н н н н		†	
		仕上	塩ビシート張り	75	塩ビ巾木		_	ビニルクロス貼り ((不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)			天井点検口(アルミ450角) 床下点検口(ステン600角
コピー室	コピー室	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5		温しリホ	····		石膏ボード t12.5	(-1-886)		10種目目が「11版913.3(フラト・ラ)(11版)	2; 500	 ⊙	X7 m (x 1 (7 (100 p)
		仕上	博坦用音板124千ワン音板 t 5.5 塩ビシート張り張替え	75	塩ビ巾木	+			(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	_		天井点検口(アルミ450角) 床下点検口(ステン600角)
書 庫	倉 庫	下地	塩ニン一ト張り張育な 既設フローリングの上一部ラワン合板下地		塩に山水	 		ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5	(小派)	塩に製	16社1首小一下放り19.3(ジノトーン) (小旅)	2; 400	⊙	
	_			75	15.11.4	-			/T-94\	ate i tour	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)		_	
倉庫 1	教育委員会	仕上	塩ビシート張り	. 75	塩ビ巾木	ł			(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2; 400	 ⊙	天井点検口(アルミ450角) 床下点検口(ステン600角)
	_	下地	構造用合板t18+ラワン合板 t 5.5			-		石膏ボード t12.5					_	
町長室	教育長室	仕上	タイルカーペット貼り	. 75	塩ビ巾木	ļ			(不燃)	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板張り t15 (不燃)	2:400	↓ ⊙	天井点検口(7)に450角)
		下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5			\perp		石膏ボード t12.5			石膏ボード t9.5			
倉庫 2	執務室	仕上	塩ビシート張り	75	塩ビ巾木	ļ			(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2:500	ļo	天井点検口(7兆450角) 床下点検口(ステン600角)
		下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5					石膏ボード t12.5						
会議室 1	会議室	仕上	タイルカーペット貼り	. 75	塩ビ巾木	ļ			(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2:400	Io	天井点検口(71/3450角)
		下地	構造用合板t18+ラワン合板 t5.5					石膏ボード t12.5				-,		
会議室 2	参事室	仕上	タイルカーペット貼り	75	塩ビ巾木				(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2:400	1	天井点検口(7兆450角) 床下点検口(ステン600角)
X IM E C	> T =	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5					石膏ボード t12.5				2, 400		
会議室3	相談室	仕上	タイルカーペット貼り	75	塩ビ巾木	J		ビニルクロス貼り ((不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボード張りt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2:400	I⊙	天井点検口(アルミ450角) 床下点検口(ステン600角)
五版主 5	10 DX ±	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5					石膏ボード t12.5				2, 400		
相談室 1	執務室	仕上	タイルカーペット貼り一部松フローリング張りt18	75	塩ビ巾木	ļl		ピニルクロス貼り ((不燃)	塩ビ製	ビニルクロス貼り (不燃)	2,500	l	天井点検口(71に450角)
10 00 至 1	+A 15 ±	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5					石膏ボード t12.5			石膏ボード t9.5	2, 575		
相談室 2	執務室	仕上	タイルカーペット貼り一部松フローリング張りt18	75	塩ビ巾木	J	_	ピニルクロス貼り ((不燃)	塩ビ製	ビニルクロス貼り (不燃)	2, 500	ļ⊙	天井点検口(7ルミ450角)
111 秋 王 2	 积 份 主	下地	構造用合板t24+ワン合板 t 5.5					石膏ボード t12.5			石膏ボード t9.5	2, 575		天并裏創建当初天井復元
湯沸室	湯沸室	仕上	塩ビシート張り張替え	75	塩ビ巾木		_	ビニルクロス貼り一部化粧ケイカル板張り		塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2,400		セクショナルキッチン:リクシル バッとりくん(L=2400)、レンシー
高 渉 至	高 赤 至	下地	既設のまま	1		1		石膏ボード t12.5	(木燃)			2,400	1 0	洗面器、天井点検口(74/450角)
		仕上	塩ビシート張り張替え	75	塩ビ巾木		_	ビニルクロス貼り ((不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5 (ジプトーン) (不燃)			天井点検口(7/に450角)
更衣室	更衣室	下地	既設のまま			1		石膏ボード t12.5				2; 400	1	
		仕上	塩ビシート張り一部光触媒施釉セラミック板	_	_		_	化粧ケイカル板 t=6一部光触媒施釉セラミック板		塩ビ製	ケイカル板 t=6 EP塗り (不燃)			手洗器、小便器、洋便器、手すり、ハイドロセラ(フロア、
男子便所	女子便所	下地	モルタル			1		耐水石膏ボード t=12.5	(木燃)		***************************************	2; 400	 ⊙	天井点検口(745450角)
		仕上	塩ビシート張り	_	_		_	化粧ケイカル板 t=6 ((不燃)	塩ビ製	ケイカル板 t=6 EP塗り (不燃)			鏡、手洗器、洋便器、手すり
女子便所	多機能トル	下地	モルタル			1		耐水石膏ボード t=12.5				2;400	 ⊙	天井点検口(7ル:450角)
		仕上	塩ビシート張り	_	_		_		(不燃)	塩ビ製	ケイカル板 t=6 EP塗り (不燃)			手洗器、洗面器、手すり、洋便器、オストメイト、ベビ
多機能トイレ	男子便所	下地	モルタル			1		耐水石膏ボード t=12.5				2; 400	 ⊙	^´ ヒ´-チェア、フィッティングボード、ハンドドライヤー
	1	仕上	桧フローリング張りt18	75	木製巾木(杉)	620	杉板張り t12		(不燃)	_	化粧石膏ボードt9.5 (ジプトーン) (不燃)	2, 050		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
廊下A	渡り廊下	下地	構造用合板 t 18			1	石膏ボードt=12.5	石膏ボード t12.5				2.670		
		仕上	塩ビシート張り張替え	75	塩ビ巾木		_		(不燃)	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5 (ジプトーン) (不燃)			
廊下B	廊下	下地	既設のまま	+:-		† <u>-</u>		石膏ボード t12.5	Am/	2 - ex		2, 400		
		仕上	株フローリング張りt18 一部人造石研出し(既設のまま)	75	木製巾木(杉)	780	杉板張り t12	掲示板クロス貼り(マグネットタイプ)		木製(杉)	ビニルクロス(不燃)貼り、格天井(杉)	 		(株)サンゲッ:サンマゲネット 同等
風除室 A	風除室	下地	様造用合板t24		小数(リハ(な)	1	杉似旅り L12 石膏ボードt=12.5	カボ板グロス貼り (マグネットタイプ) クロス専用下地、石膏ボード t12.5		/INSE (イン/	こールクロス(不整) 始り、俗スガ(杉) 石膏ボード t9.5	2:-700	†	(36/7/1 / - 7/37 年7月 四寸
	+			75	士制由士(松)	700	右背ホートL-12.5 杉板張り t12	ジョリパット(しっくい調)コテ塗一部ビニ	11 A D 7 8 F	一体ビ制	ロックウール化粧吸音板(リブ付)張り t15 (不燃)		1	
風除室 B	執務室	仕上	桧フローリング張りt18	-1-/5	木製巾木(杉)	780				/ 塩ビ製		2; 500	+	
		下地	構造用合板t24	+		\vdash	石膏ボードt=12.5	HAT 1	(不燃)	16.744	石膏ボード t9.5	1	1	
ポーチ	ポーチ	仕上	人造石研出し仕上げ補修		ļ	ļ	杉板張り t15	しっくい塗	/ 	塩ビ製	ロックウール化粧吸音板(リブ付)張り t15 (不燃)	2; 500	∔	ļ
		下地	コンクリート	1		\vdash		荒壁パネル下地 ((不燃)		石膏ボード t9.5	1	1	
												1	1	1

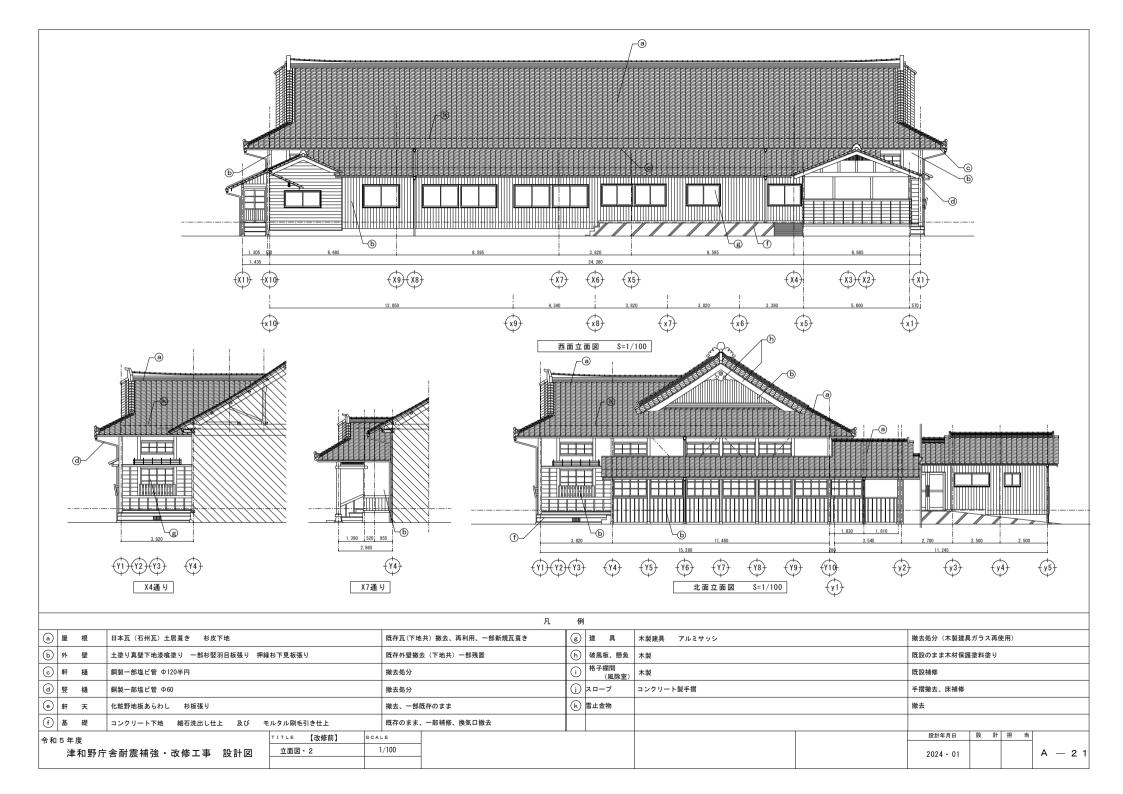
令和5年度	TITLE	E	【改修征	後】	SCALE
津和野庁舎耐震補強・改修工事 設計	回仕		表		_
洋和野汀古剛展開短。 以修工争 設計	A				

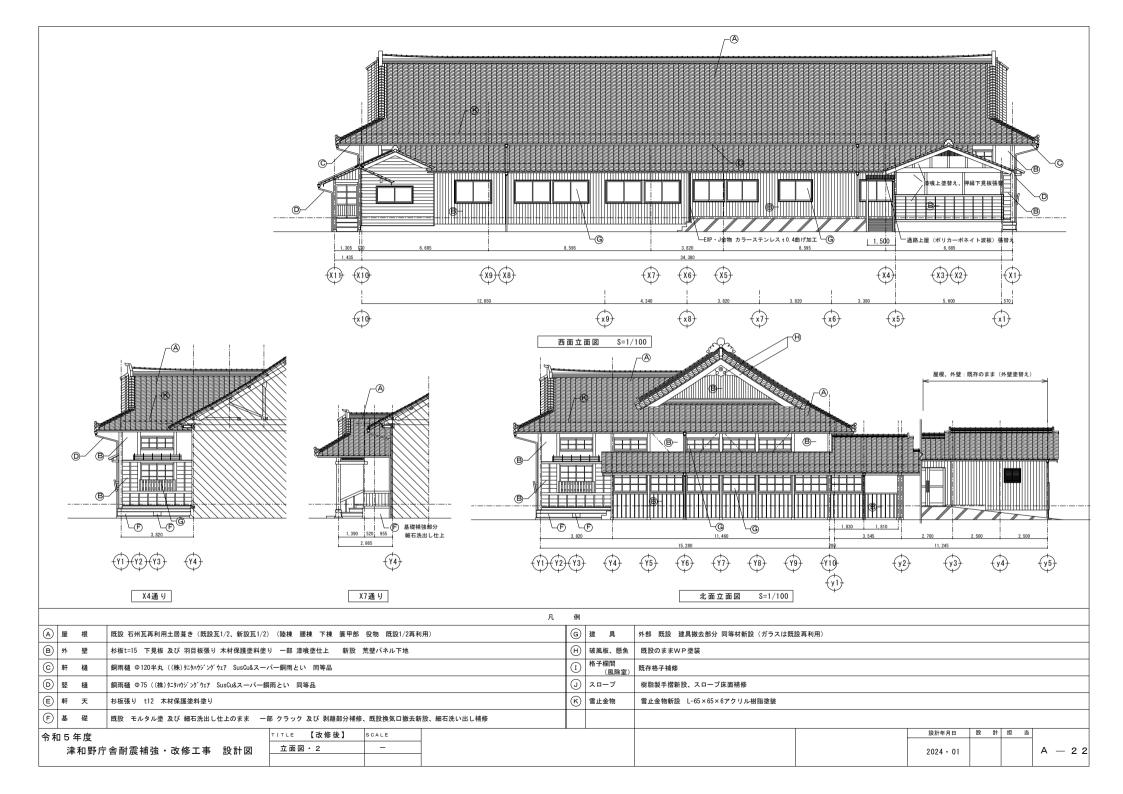


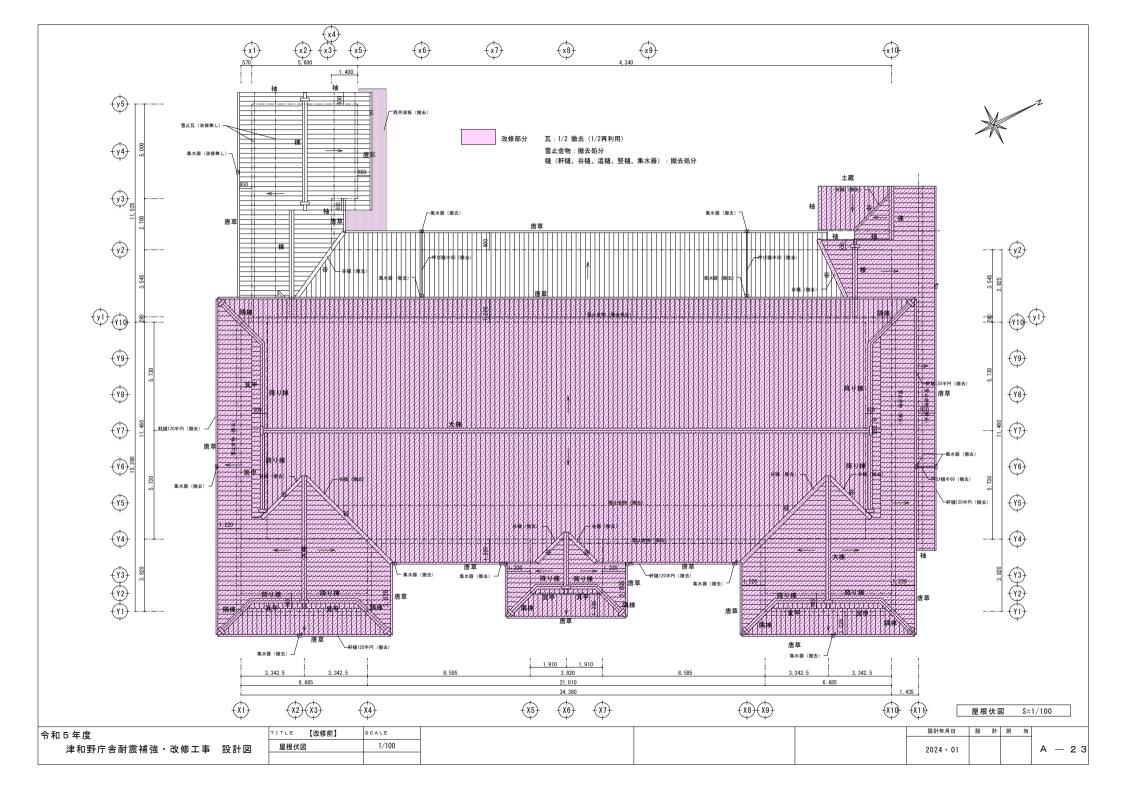


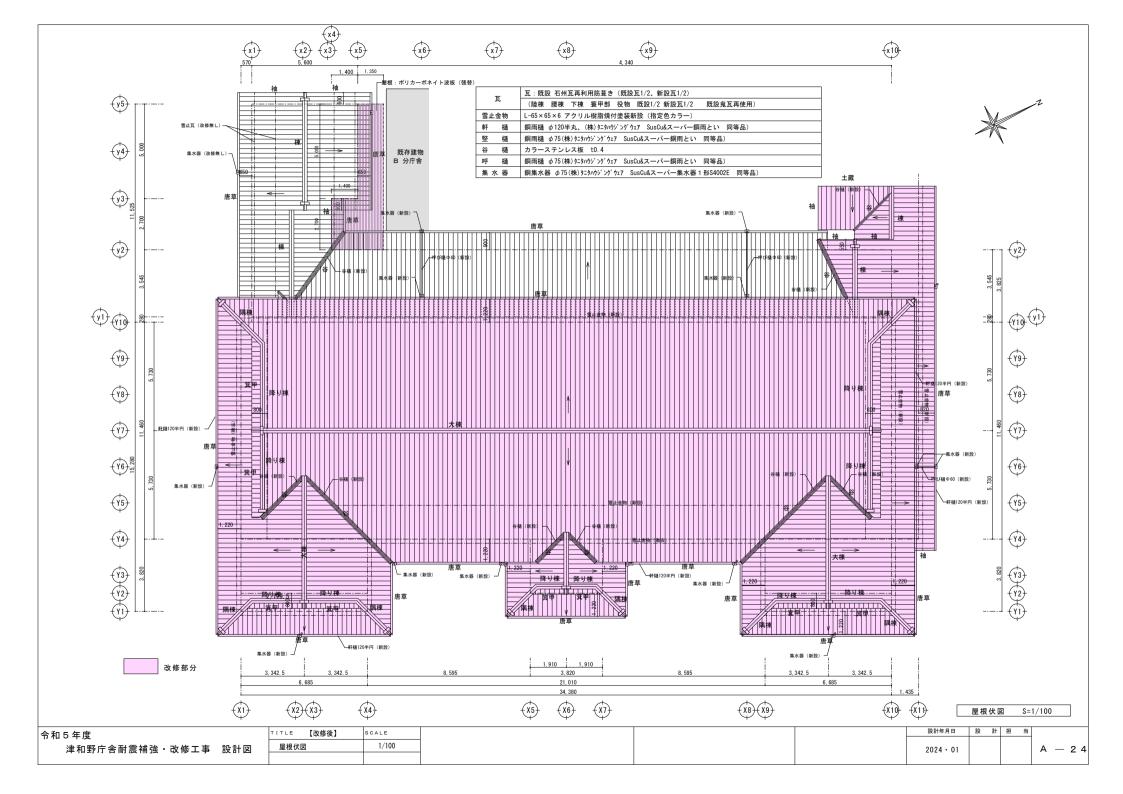


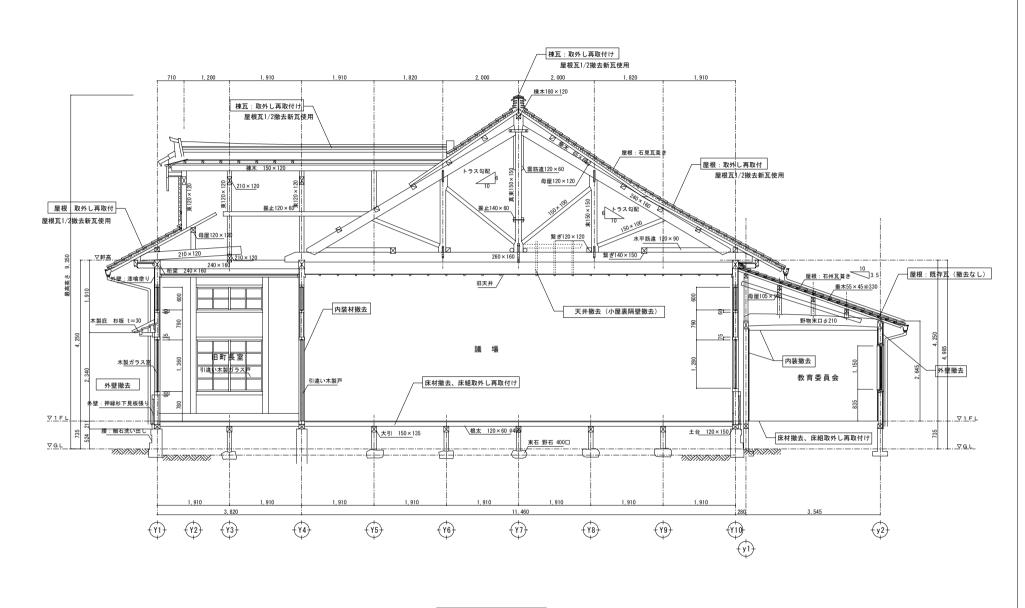






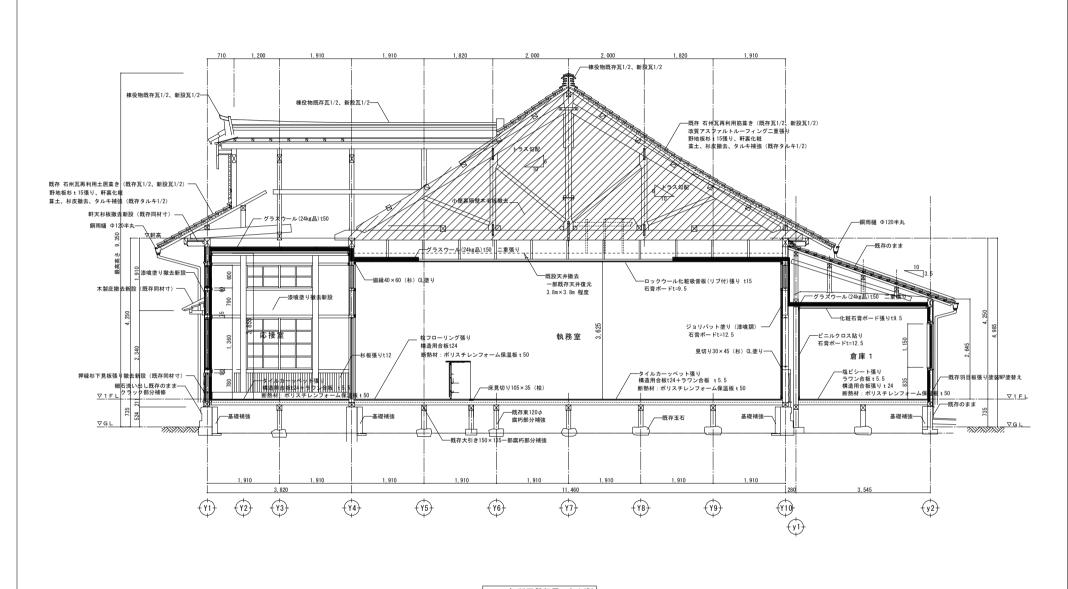






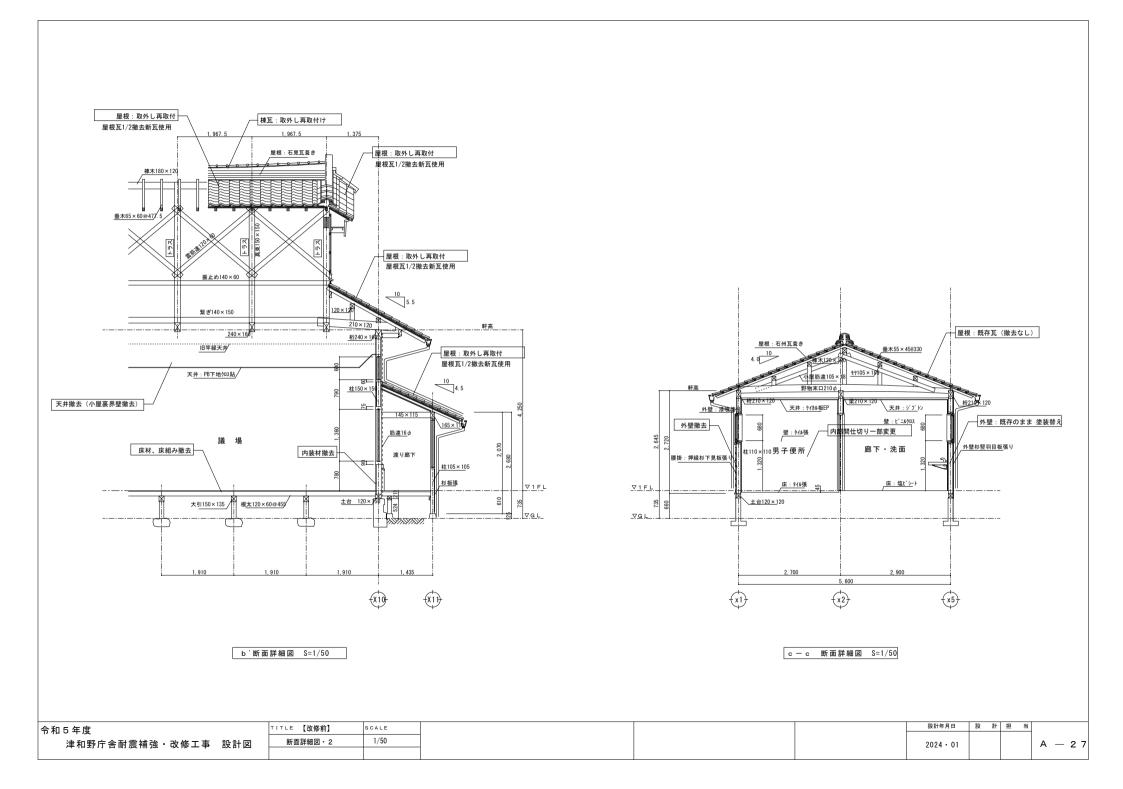
断面詳細図・1 S=1/50

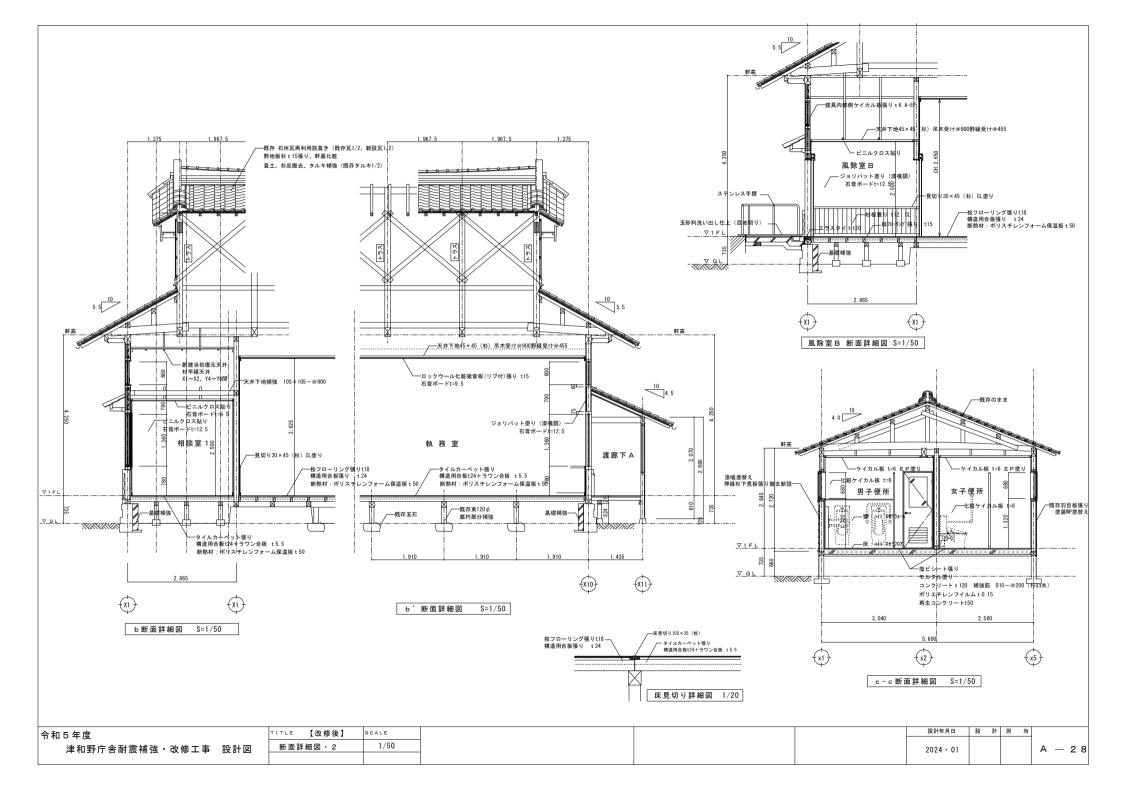
令和5年度	TITLE 【改修前】	SCALE
津和野庁舎耐震補強・改修工事 設計図	断面詳細図・1	1/50
洋和野厅古顺展椭蚀 以修工争 故計凶	101 IM II 194 IM	.,

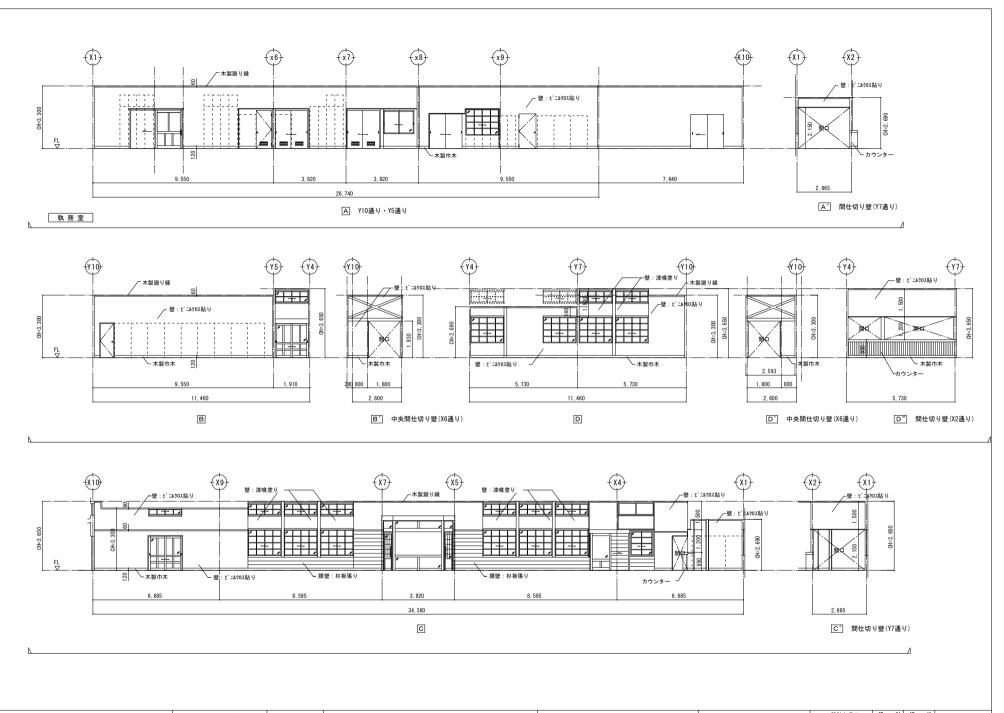


a-a'断面詳細図 S=1/50

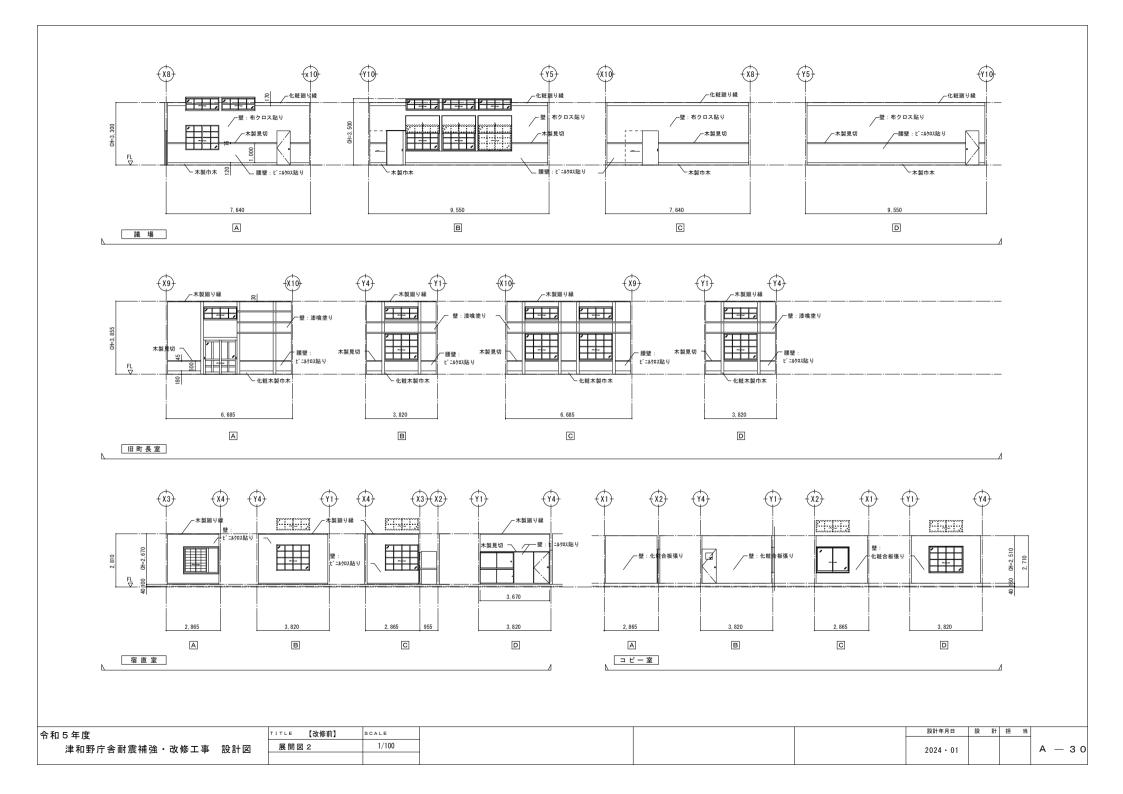
令和5年度	TITLE 【改修後】	SCALE
17	断面詳細図・1	1/50
洋和野川古剛展開独 以修工事 故前凶	PA1 PRE E1 429 PRE .	.,

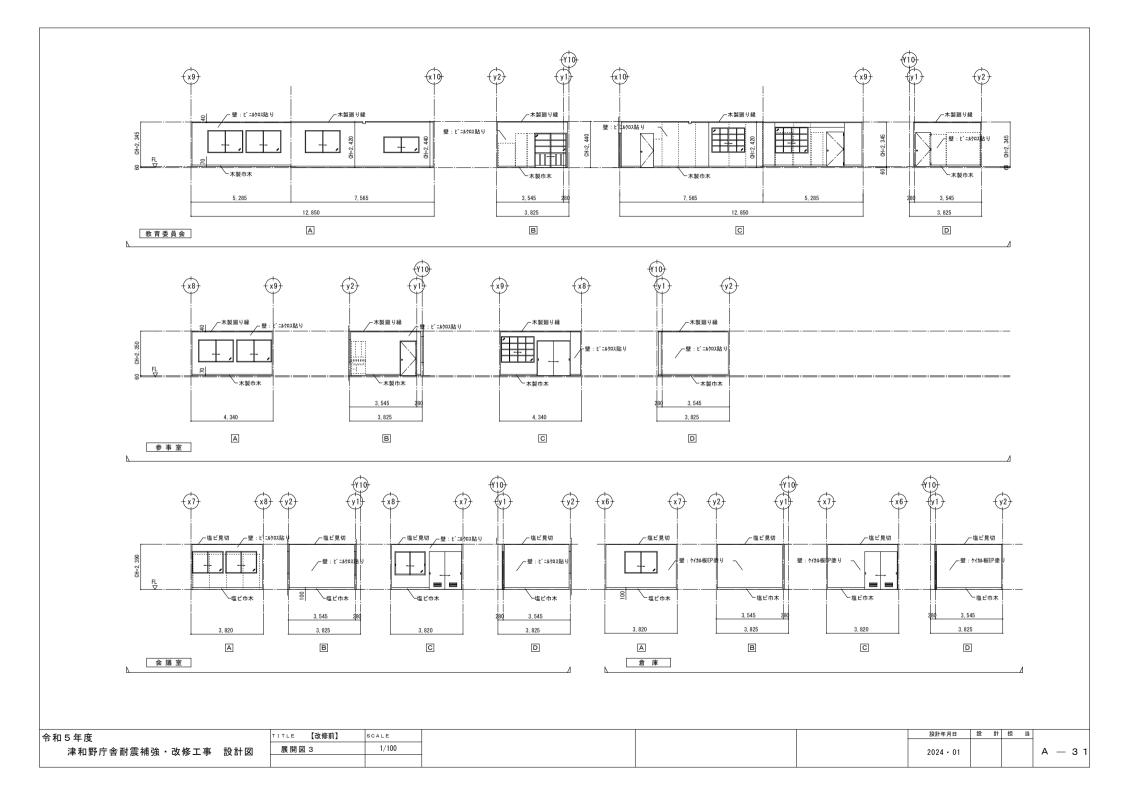


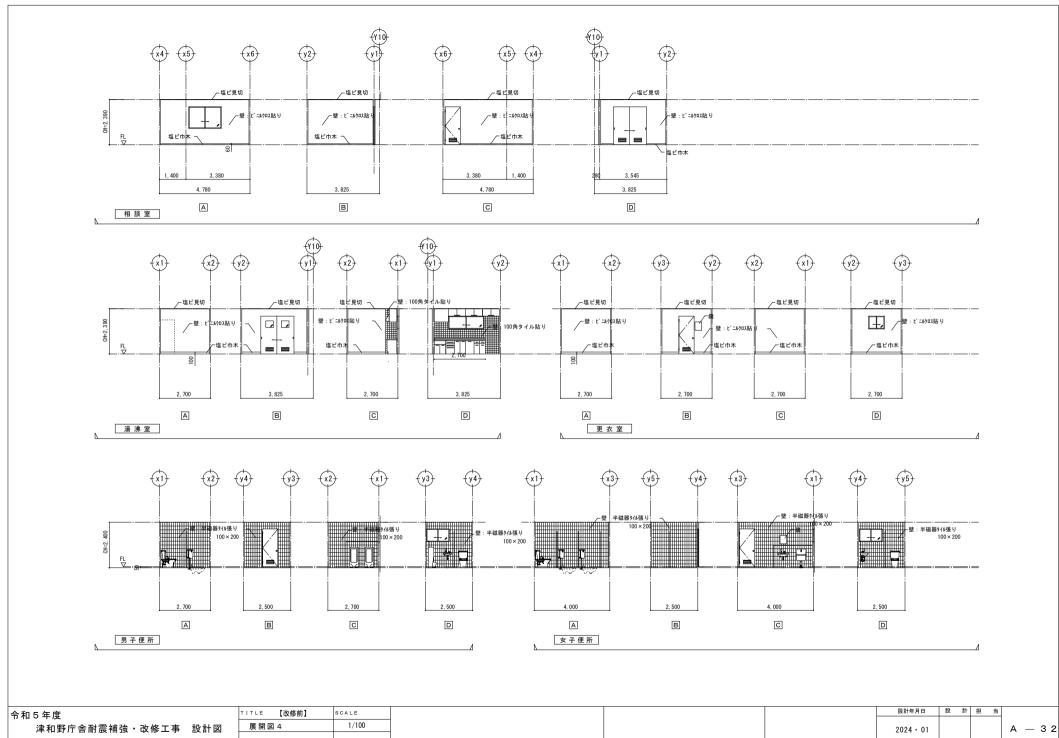


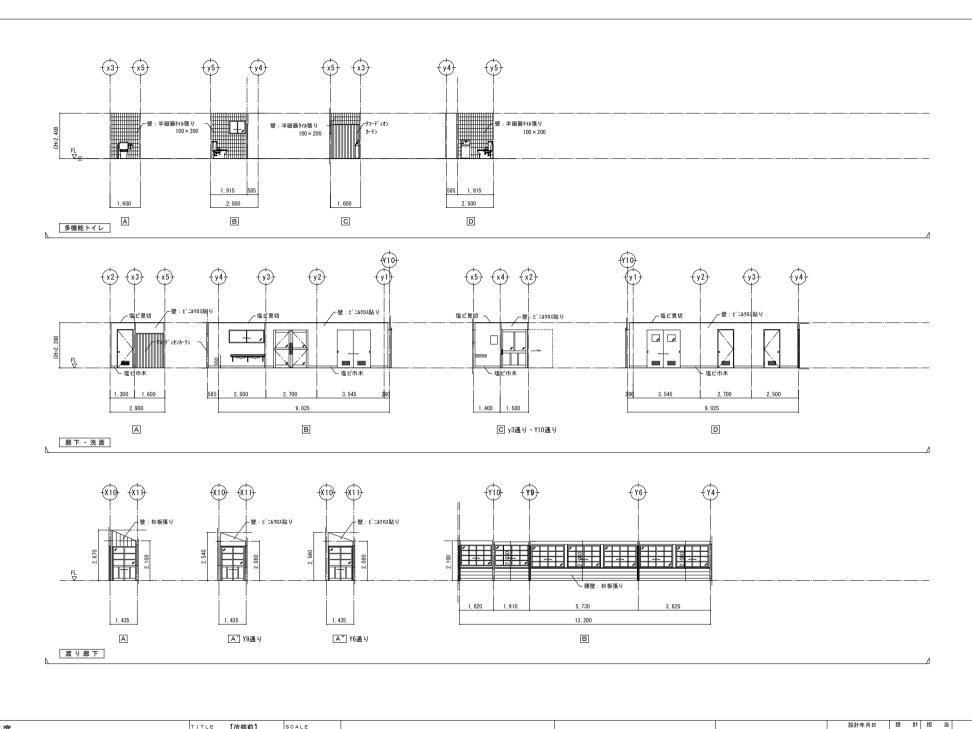


令和 5 年度	TITLE 【改修前】	SCALE
****	展開図 1	1/100
产和到几日间及情况 以停工学 欧叶色		





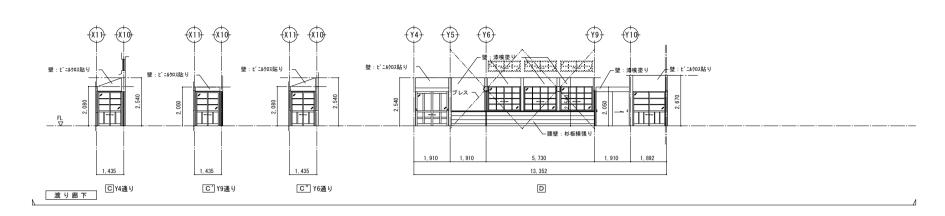


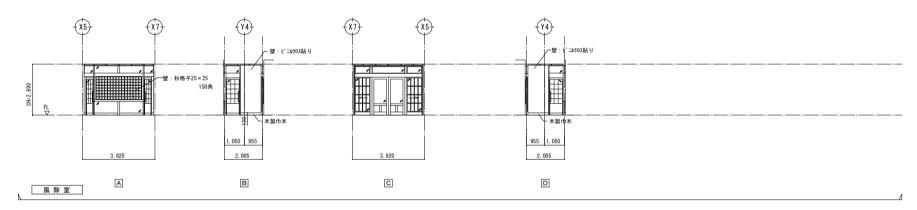


令和 5 年度			
津和野庁舎耐震補強	•	改修工事	設計図

TITLE	【改修削】	SCALE
展開	図 5	1/100

2024 · 01 A — 3 3





令和	5年度	
	津和野庁舎耐震補強・改修工事	設計図

TITLE	【改修前】	SCALE
展開	図 6	1/100

設計年月日	設	āT	担	=			
2024 - 01					Α	_	3